

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-6

< 50週 > 感染性胃腸炎 - 前週に引き続き患者数が急増 / その他
最新動向

< 11月 > 性感染症・薬剤耐性菌・結核について



注目すべき感染症
P.7

< 感染性胃腸炎 > 第50週の全国定点からの報告総数は44,524で、
平均の定点当たり報告数は14.9



病原体情報
P.8

インフルエンザウイルス分離・検出報告 / 感染性胃腸炎 - SRSV
およびロタウイルス検出報告



速報
P.9-10

2000年の手足口病患者からのCA16、EV71、CA10、E25の分離 -
山形県 / 今シーズンにおけるA(H1N1)型インフルエンザウイルスの
分離例 - 静岡県 / 他



海外感染症情報
P.11-13

ヒトの狂犬病 - 米国、カナダ / その他更新情報



感染症の話
P.14-16

下痢原性大腸菌感染症
腸管出血性大腸菌(EHEC)やわが国で下痢
原性大腸菌による食中毒事例が最も多い毒素
原性大腸菌(ETEC)など5種類に分類される



読者のコーナー
P.17



グラフ総覧(50週)
P.18-24



グラフ総覧(11月)
P.25-29



11月のデータ
P.30-33



50週のデータ
P.34-41



発生動向総覧

50週コメント 12月21日集計分

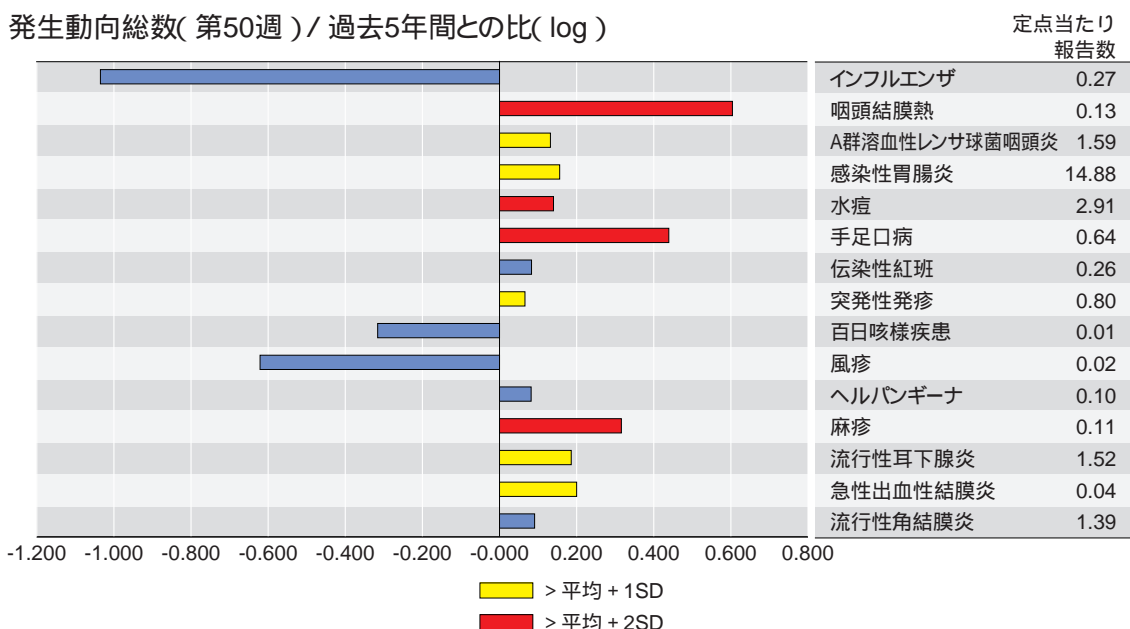
全数報告の感染症

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: コレラ2例(推定感染地: 国内1例、タイ1例) 細菌性赤痢6例(推定感染地: 国内、インド、シンガポール、ベトナム、タイ、タイ・インド各1例)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症35例
- 4類感染症: アメーバ赤痢4例、Q熱2例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例(孤発性)
 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、ジアルジア症2例、ツツガムシ病30例、
 VRE感染症1例、レジオネラ症4例。
 ツツガムシ病はここ数週間、宮崎県、鹿児島県など九州地方で患者報告が多い。
 急性ウイルス性肝炎6例 A型3例 B型3例__感染経路: 不明1例、性行為感染2例
 後天性免疫不全症候群1例(無症候性キャリア、感染経路: 異性間性行为)
 梅毒7例(早期顕症4例、晩期顕症0例、無症候3例、先天梅毒0例)
 マラリア1例(熱帯熱マラリア__推定感染地: ギニア)

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

水痘の定点当たり報告数が例年に比べかなり多くなっており、新潟県で定点当たり報告数5.8、山形県で5.5、宮崎県で5.1となっているほか、北海道・東北地方、奈良県、和歌山県などでも定点当たり報告数が多くなっている。咽頭結膜熱は冬季としては例年になく定点当たり報告数が多くなっている(18ページグラフ総覧、咽頭結膜熱参照)。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎と流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は例年の同時期に比べやや多くなっている。麻疹は例年の同時期と比べ定点当たり報告数がかなり多くなっており、高知県、奈良県、大分県、鹿児島県、沖縄県、北海道などで患者報告数が多くなっている。感染性胃腸炎は前週に引き続き患者数が急増しており、1999年に次ぐ定点当たり報告数となっている。とくに定点当たり報告数が多くなっているのは鳥取県(32.6)、福岡県(30.8)、山形県(28.9)などである(感染性胃腸炎の病原体については8ページ病原体情報参照)。インフルエンザの活動性はまだ低く、全国平均で定点当たり報告数0.27となっている。

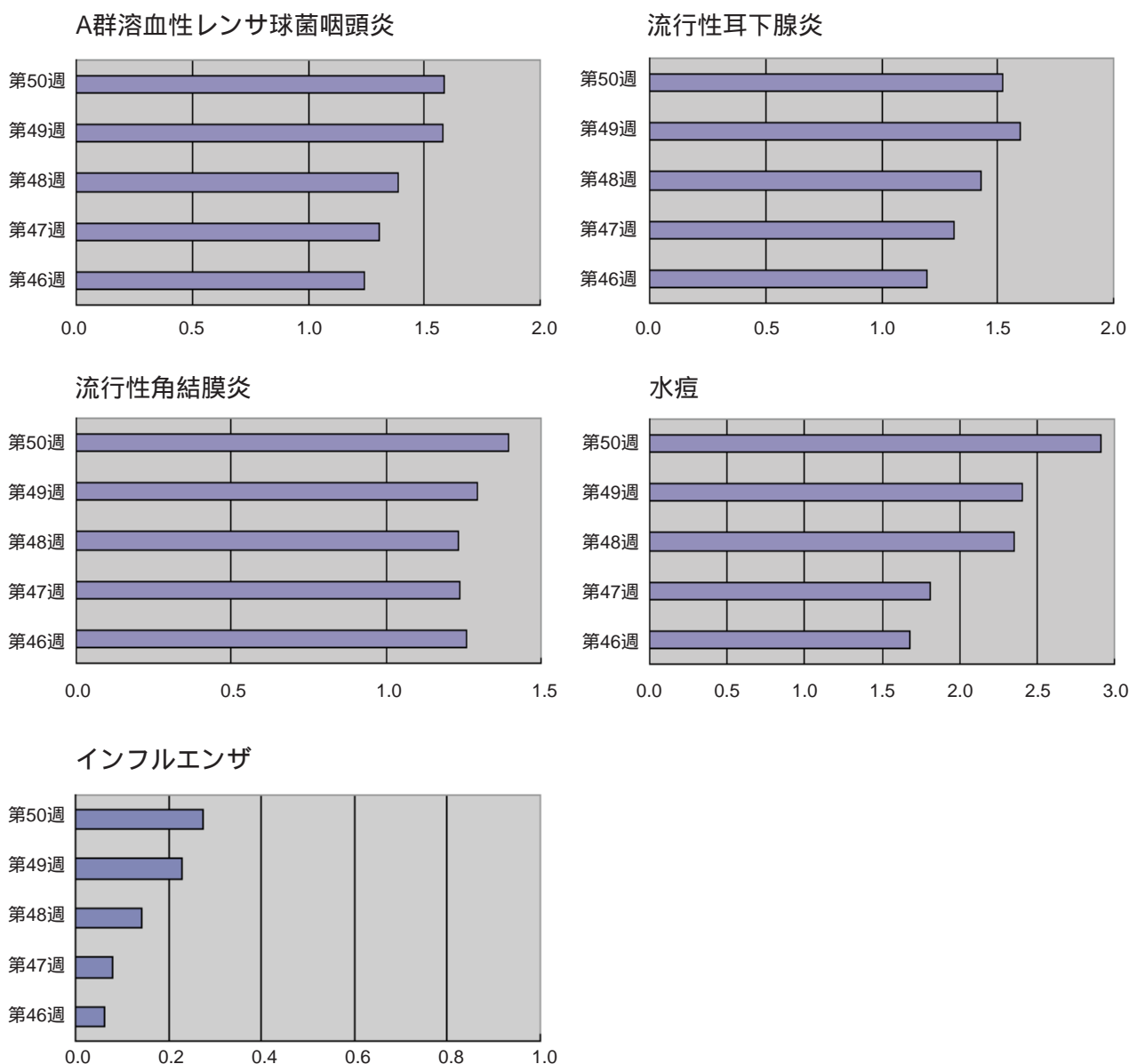
発生動向総数(第50週) / 過去5年間との比(log)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均) の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

最近の注目疾患-5週間の動き

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は前週とほとんど変わっていない。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は前週に比べわずかに減少したが、冬季の流行としては過去10年間で最大となっている(22ページグラフ総覧、流行性耳下腺炎参照)。流行性角結膜炎の定点当たり報告数はここ2週続けてわずかに増加している。水痘の定点当たり報告数は増加傾向にある。インフルエンザの報告数は全国的にまだ少ないが、緩やかな増加傾向を示している。



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。

11月コメント

性感染症について (12月7日集計分)

11月の月別定点当り患者報告数は、性器クラミジア感染症が3.45 (男1.47、女1.98)、性器ヘルペスウイルス感染症が0.78(男0.30、女0.48)、尖形コンジロームが0.41(男0.21、女0.21)、淋菌感染症が1.58 (男1.32、女0.26)で、4疾病のうち、男性では性器クラミジア感染症および淋菌感染症、女性では性器クラミジア感染症が多かった。夏以降、性器クラミジア感染症および淋菌感染症で増加傾向が見られていたが、それらを含めいずれの疾病の報告数も前月に比べて減少した(25~28ページグラフ総覧参照)。

定点当り報告数を年齢階級別に比較すると、いずれの疾病でもピークは20~29歳にあったが、性器ヘルペスウイルス感染症では50代以降の高年齢層からも一定の割合で報告されている。全体の男女比は、性器クラミジア感染症(図1a)で1:1.35、性器ヘルペスウイルス感染症(図1b)で1:1.60、尖形コンジローム(図1c)で1:1、淋菌感染症(図1d)で1:0.20であったが、いずれの疾病でも若年齢層ほど女性の報告者数が多い傾向が認められた。(11月の性感染症定点総数は909)

性器クラミジア感染症について、感染症新法が施行された1999年4月以降の月別定点当り患者報告数の動向を年齢階級別に示した(図2)。報告数が多い年齢階級は、男性では20代、次いで30代、15歳以降の10代の順であるが(図2a)、女性では20~24歳が特に多く、さらに25~29歳と15~19歳が続いている(図2b)。この夏、女性の20~24歳では明らかな増加傾向が見られており、今後の若年齢層の女性での性器クラミジア感染症の発生動向が特に注目される。

【注】各性感染症の月別定点当り報告数グラフの1999年3月と4月間で生じたギャップ、および本発生動向調査で得られる患者報告数の男女比については、本週報2000年第46週4ページを参照されたい。

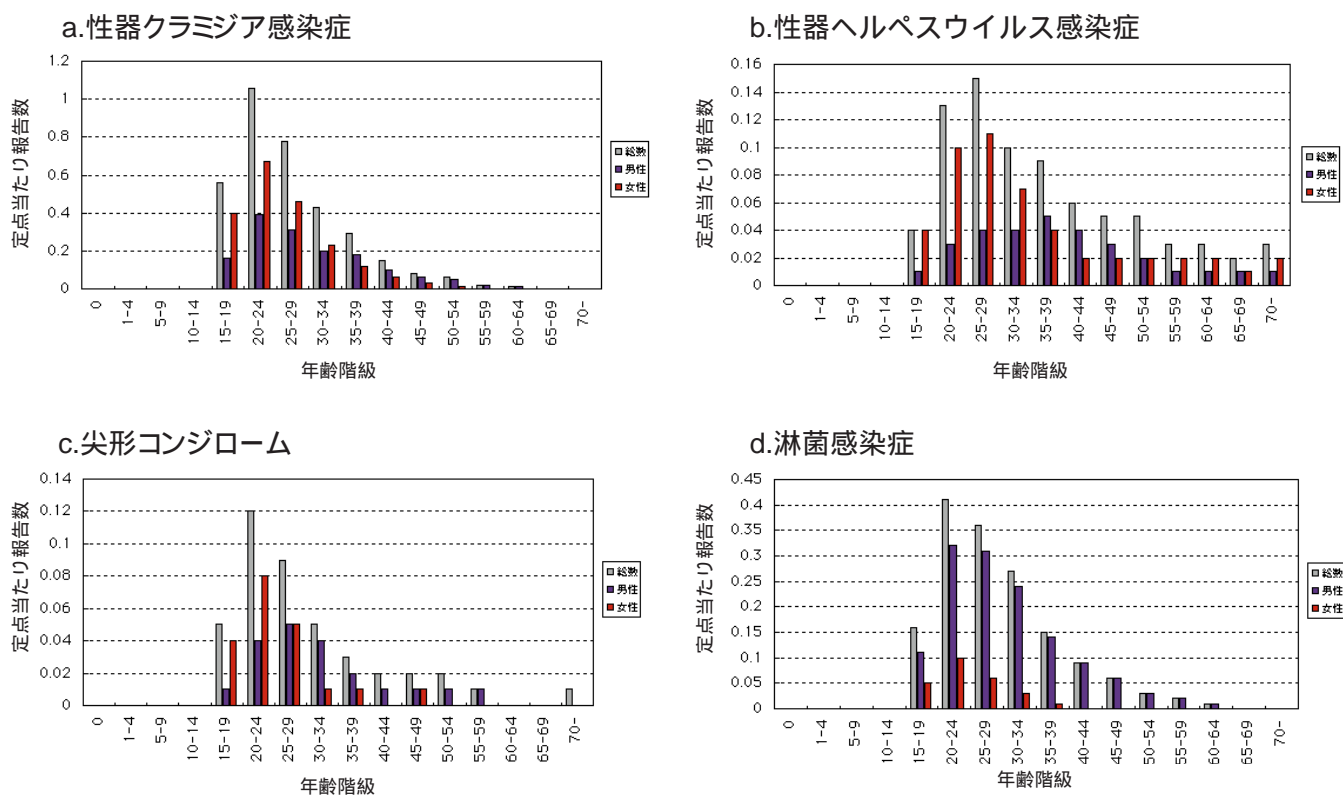


図1. 性感染症の年齢階級・性別グラフ

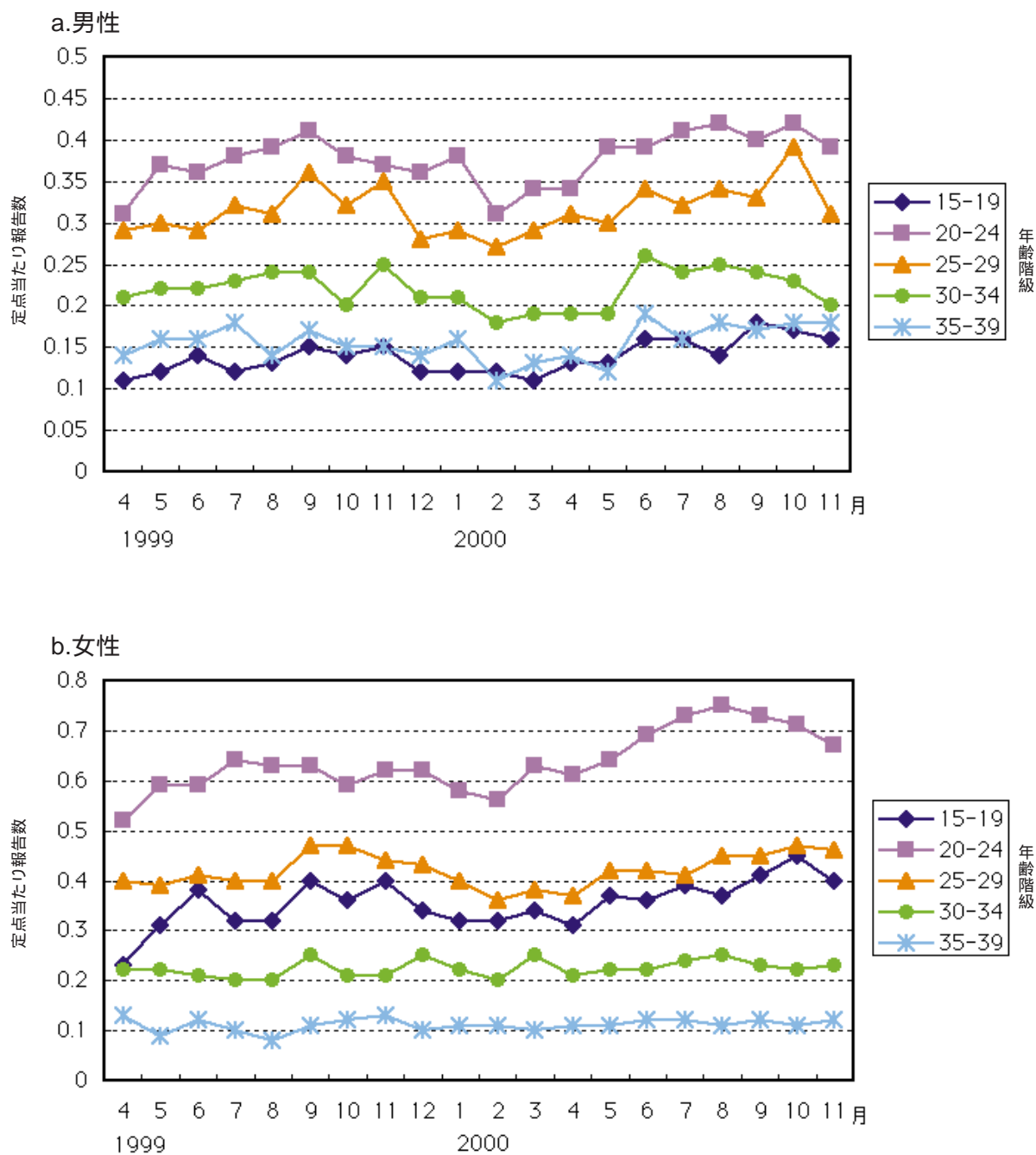


図2. 性器クラミジア感染症の年齢階級・月別定点当たり報告数

薬剤耐性菌について (12月7日集計分)

【注】)内の+、-、= は、前月に比し定点当たり報告数のそれぞれ増加、減少、不変を表す。

11月の基幹定点総数 : 458 .

11月の定点当たり報告数 : メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症 3.1(-)

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症 0.91(+)

薬剤耐性緑膿菌感染症 0.09(-)

年齢階級別 : MRSA感染症 報告数の54%は70歳以上の高齢者であり、0歳、1 ~ 4歳と50 ~ 69歳にも多い。

PRSP感染症 1 ~ 4歳が最も多く、全体の44%を占める。

薬剤耐性緑膿菌感染症 ... 高齢者に多く見られ、全体の62.8%が70歳以上であった。

結核サーベイランス月報 (12月19日集計分)

11月の新登録患者数は3,031人、活動性肺結核患者は2,514人(うち喀痰塗抹陽性患者は981人) 非定型抗酸菌陽性者数は251人であった。

コメントは結核研究所の結核発生動向調査結果報告(<http://www.jata.or.jp/tbmr/tbmr.htm>) をご覧下さい。



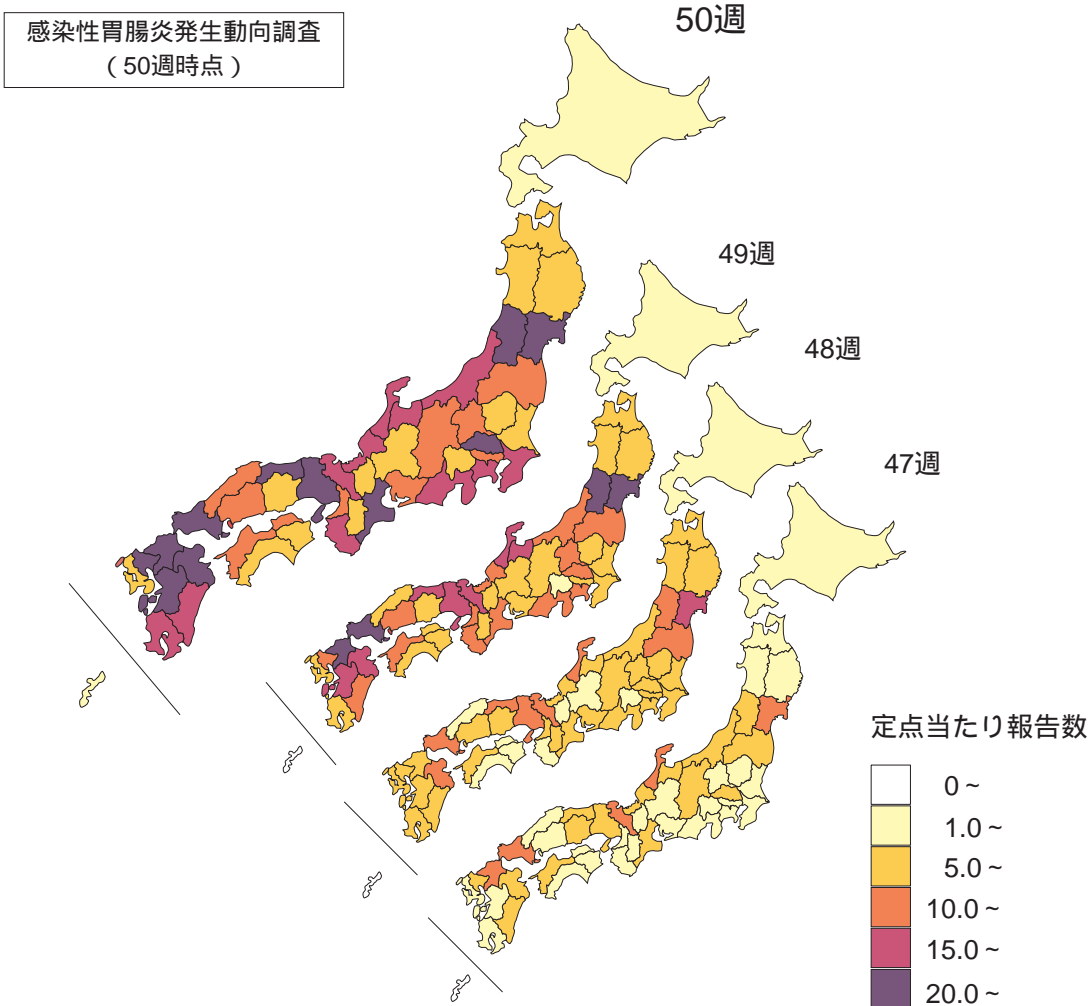
注目すべき感染症

感染性胃腸炎流行状況

感染性胃腸炎のサーベイランスは、感染性を疑う急性の嘔吐・下痢を対象とするいわゆる症候群サーベイランスである。病原体は多岐にわたり、診断の際必ずしも病原体の特定は必要ではない。

感染性胃腸炎は小児科定点からの報告疾患であり、冬季に報告数が増加する。流行曲線(19ページグラフ総覧、感染性胃腸炎参照)はSRSVやロタウイルスの検出報告数の動きとよく一致し、これらのウイルスが冬季の感染性胃腸炎の主要病原体である。

2000年冬季の流行は第42週頃より徐々に定点当たり患者報告数が増加し始め、45週以降患者が急増している。とくに第48週から49週にかけてと49週から50週にかけての定点当たり報告数の増加は著しく、第50週の全国定点からの報告総数は44,524で、平均の定点当たり報告数は14.9となっており、例年の平均よりやや多い。報告が多くなっているのは、鳥取県(定点当たり報告数32.6)、福岡県(30.8)、山形県(28.9)、山口県(25.9)、大分県(25.1)、佐賀県(22.8)、宮城県(22.7)、熊本県(22.1)などである(下図参照)。患者の年齢を見ると、1歳で最も多く、1歳~5歳までの年齢階級で全体の約6割を占める(感染性胃腸炎の患者から検出されたウイルスについては8ページ病原体情報参照)。





病原体情報

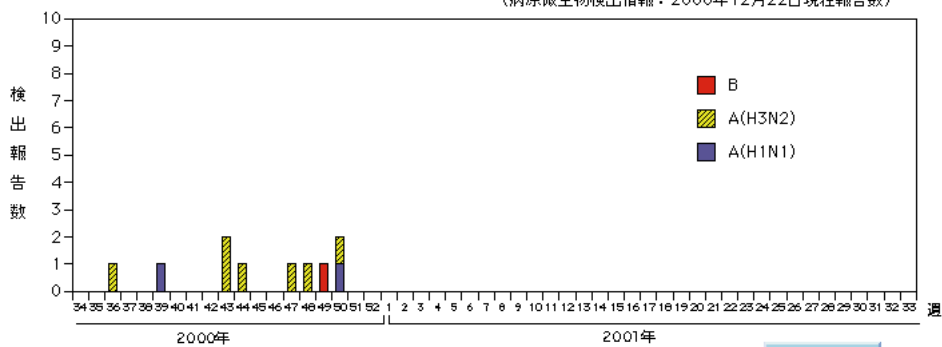
2000年12月22日現在報告分

*グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

インフルエンザ 2000/2001シーズン

今シーズンの分離・検出は、A/香港(H3N2)型が広島県(第36週)1件の分離、愛知県3件(第43、44週)の検出、神戸市(第47週)、埼玉県(第48週)、大阪府(第50週)各1件の分離、A/ソ連(H1N1未同定)型が横浜市(第39週)1件の検出、静岡県1件(第50週)の分離、B型は静岡県(第49週)1件の分離が報告されている。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2000/2001シーズン
(病原微生物検出情報：2000年12月22日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。

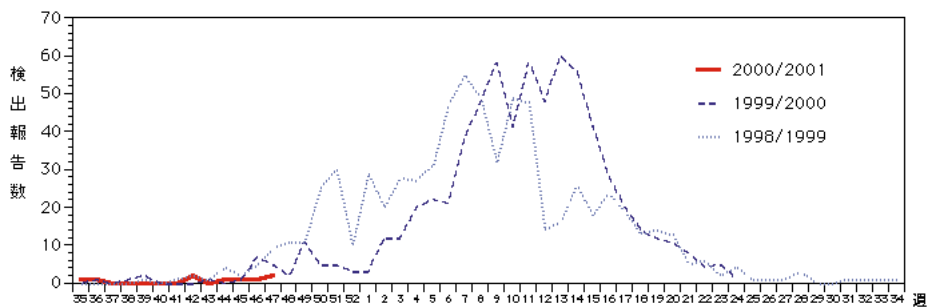


Infectious Agents Surveillance Report

感染性胃腸炎 2000/2001シーズン SRSVおよびロタウイルス検出報告

今シーズンのロタウイルスの検出は、新潟県、大阪府各2件、岩手県、山梨県、愛知県、大阪市、岡山県各1件が報告され、またSRSVの検出は、北九州市17件、新潟県12件、山形県9件、栃木県8件、滋賀県6件(第50週に5件)、岡山県3件、石川県1件の報告がされている。

週別ロタウイルスの検出報告数、シーズン別比較(1998/1999、1999/2000、2000/2001)
(病原微生物検出情報：2000年12月18日現在報告数)

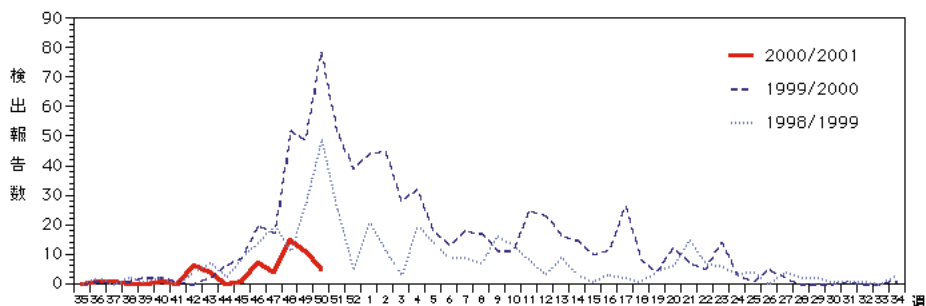


各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

週別SRSVの検出報告数、シーズン別比較(1998/1999、1999/2000、2000/2001)
(病原微生物検出情報：2000年12月22日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report



2000年の手足口病患者からのCA16、EV71、CA10、E25の分離 - 山形県

山形県では、5年ぶりに手足口病が大流行した。流行初期の状況については、すでに報告(IASR Vol.21, No.7参照)しており、今回は今シーズンの県内における分離状況をまとめて報告する。検体(咽頭ぬぐい液)は第19週 ~ 第44週まで4地区11施設から合計117例が集まった。うち107件が5歳以下で、1例が40歳代の症例であり、この成人例は典型的な臨床症状を示したものであった。

ウイルス分離は、HEF、HEp-2、Vero、MDCK、GMK、RD-18S細胞を用い、マイクロプレート法により行った。ウイルスの同定は、GMKもしくはRD-18S(一部HEF)細胞を用い、96穴のマイクロプレートによる中和試験により行った。抗血清は、コクサッキーウイルスA16型(CA16)とエンテロウイルス71型(EV71)については、国立仙台病院ウイルスセンター、エコーウイルス25型(E25)はデンカ生研製のものを、コクサッキーウイルスA10型(CA10)は感染研から分与されたものをそれぞれ使用した。

分離成績は、CA16が75株、EV71が16株、E25とCA10が各1株(分離率80%)であった。CA16とEV71はGMKを中心にHEFとVero細胞で、E25はRD-18SとHEF細胞、CA10はRD-18Sで分離された。成人例からはEV71が分離された。このように、山形では約8割がCA16であったが、全国的にはEV71の分離が多かった。

地域性を見ると、村山・最上・庄内の3地区と置賜地区で分離ウイルスが異なる傾向にあった。村山・最上・庄内地区ではCA16が主体で(一部村山・最上地区ではEV71)あったが、置賜地区ではEV71のみが分離された。ただし、置賜の検体は23 ~ 24週のものに限られていたため、CA16が流行していなかったかは不明である。

手足口病の病原体は、一般に、CA16、EV71が主体であるが、臨床的には病原ウイルスの推定は不可能である。実際、山形県内で今シーズン4種類のウイルスが分離されており、正しい病原体診断のためにはウイルスの検出が不可欠である。

なお、山形県内のウイルス分離状況については本年9月からホームページ(<http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/>)への掲載を開始した。

山形県衛生研究所

後藤裕子 村田敏夫 水田克巳 村山尚子 溝口二郎 菅野穎一 早坂晃一

(IASR12月号より抜粋、詳細はIASR Vol.21 No.12, 2000 P.15)

今シーズンにおけるA(H1)型インフルエンザウイルスの分離例 - 静岡県

感染症発生動向調査によると、静岡県におけるインフルエンザの患者報告は0.37/定点(49週)で、まだ本格的に流行していないが、静岡県では流行の可能性のあるウイルスについての情報をいち早く提供するため、病原体定点以外の医療機関からの検体も検査対象として病原体分離に努めている。

症例は4歳2カ月の女兒(幼稚園児)で、発熱(39.0)、上気道炎を主訴とし12月11日に中東遠保健所管内の小児科医院を受診し、A型ウイルス抗原検出検査(ディレクティジェンFlu A)で陽性を示したことから、インフルエンザと診断された。

当研究所に搬入された咽頭ぬぐい液をMDCK細胞に接種したところ、培養4日目に細胞変性効果(CPE)が観察され、培養上清のシチメンチョウ赤血球に対するHA価は64を示した。感染研分与の2000/01シーズン用検査キットの抗血清を用いて血球凝集抑制(HI)試験を行った結果、分離株はA/New Caledonia/20/99(H1N1)に対しHI価640(ホモ価640)、A/Moscow/13/98(H1N1)に対しHI価20(ホモ価

2,560) A/Panama/2007/99(H3N2)に対しHI価 < 10(ホモ価2,560)を示し、A(H1)型インフルエンザウイルスと同定された。

静岡県環境衛生科学研究所 佐原啓二 長岡宏美 杉枝正明 秋山真人
池谷医院 池谷 満

(IASR 2001年1月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)

大阪府下における2000/01シーズン最初のインフルエンザウイルスA(H3)型分離

患者は10歳の男児(小学校5年生) 2000年12月10日夜発熱(39 ~ 40)・頭痛、11日大阪府富田林保健所管内の小児科医を受診し、Directigen Flu A検査にて陽性となり、インフルエンザと診断された。うがい液および後鼻腔擦過物が採取され、大阪府立公衆衛生研究所に搬入されウイルス検査を実施したところ、MDCK細胞でインフルエンザA/香港型ウイルス(A/H3)が分離された。なお、本年度のワクチンは接種されていなかった。

分離ウイルスは、モルモット赤血球に対して128HA(うがい液より分離)および192HA(後鼻腔擦過物より分離)を示し、国立感染症研究所より分与された感染フェレット抗血清を用いたHI試験の結果、A/Panama/2007/99(H3N2)に対してHI価640(ホモ価640)、A/Moscow/13/98(H1N1)、A/New Caledonia/20/99(H1N1)に対してはともに20以下のHI価を示した。なお、家族、学校での患者発生状況は不明である。

大阪府立公衆衛生研究所 森川佐依子 加瀬哲男 奥野良信

(IASR 2001年1月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)

韓国旅行から帰国した兄妹に発症した麻疹(山形)

症例1: 4歳女児(麻疹の予防接種歴なし)

平成12年11月15日 ~ 22日に家族で韓国旅行。11月29日から発熱、12月2日から発疹が出現し、12月4日に山形市立病院済生館小児科を受診した。コプリック斑は認めなかったが、臨床的に麻疹と診断した。麻疹ウイルス抗体検査でIgM(EIA)が15.91と陽性を示し、診断を確定した。肺炎を合併していたため、抗生剤と気管支拡張剤などを投与した。

症例2: 6歳男児(麻疹の予防接種歴なし)

症例1の兄で、同様に平成12年11月15日 ~ 22日に韓国旅行。12月8日から発熱、12月12日から発疹が出現し、12月13日に同科を受診。コプリック斑を認め、麻疹と診断した。抗体検査は行わなかった。呼吸器感染症状を呈していたため、抗生剤と気管支拡張剤などを投与した。

2児とも外来治療で完治している。

山形市立病院済生館小児科 秋場 伴晴

【編集部注】韓国では麻疹は全数届け出疾患である。積極的なMMRワクチン投与により、年間報告数は100例以下と減少してきていたが、2000年には8月末で3,470人の麻疹患者が報告されており、重要な公衆衛生上の問題となっている。(参照: 韓国CDMR2000年10月号)



海外感染症情報

ウガンダのエボラ出血熱 更新

WHO/CSR 2000年12月19日

12月19日までに、ウガンダ保健省は162人の死亡者を含む421人のエボラ出血熱の累計患者数を報告した。

来るホリデーシーズン中においても患者の治療、サーベイランス、接触者の追跡、保健教育対策が実施される予定である。CDC、国境なき医師団、Istituto Superiore di Sanità (ISS, Italy) および Health Canada を含む他の協力機関はウガンダ保健省、ウガンダ政府地域事務所、ウガンダ国軍と共にこれらの活動を行っている。日本と英国からの公衆衛生の専門家もこれらの活動に対し参加・協力している。

南アフリカのコレラ 更新

WHO/CSR 2000年12月19日

Kwazulu-Natal保健省は2000年8月中旬から始まったコレラの流行で12月18日までに8,137人の患者と41人の死亡者を報告した。

最近の流行地域での大量の降雨が患者数の増加に影響している可能性がある。Kwazulu-Natalでの流行は次の地域で発生している。Lower Umfolozi地方のHlabisaとNgwelezaneを含むEmpangeni地区とEshowe/Nkandla地区。Lower South Coast地区での流行は主にKwaDukuza/Stanger地区とUgu Region/South Coastで起きている。

ヒトの狂犬病 米国、カナダ

CDC/MMWR 2000年12月15日

2000年の9月から11月にかけて米国のカリフォルニア、ニューヨーク、ジョージア、ミネソタ、およびウィスコンシン各州およびカナダのケベック州の住人が狂犬病で死亡した。

カリフォルニア州

9月15日、49歳の男性が、右腕の痛みと知覚異常で神経科医を受診したが、非定型的な神経症と診断された。その後、手の痙攣、顔と体幹の右側の発汗が出現し、さらに嚥下困難、唾液過多、激昂、および筋肉の痙攣が起こり、9月16日に地元の病院に入院した。バイタルサイン、血液検査は異常がなかったが、数時間内に錯乱状態に陥った。診察をした神経科医は狂犬病を疑い、狂犬病の免疫グロブリン、ワクチン、アシクロビルを投与した。9月17日に、患者は人工呼吸器管理となり、狂犬病の検査では陽性で、腎不全に陥り、9月20日に死亡した。患者はコウモリに接触したことを報告していなかったが、患者の妻によると、6月か7月に家にコウモリが飛び込んできて患者がそれを取り除いたとのことである。

ニューヨーク州

9月22日にガーナ在住の54歳の男性がアメリカ合衆国に到着し、9月26日に右下背部の不快感を訴えた。その後数日の間に痛みは強くなり、それと交互に腹部の不快感が発生した。9月30日に腸閉塞の疑いで地元の病院に入院した。診察時に患者は不安気で、右わき腹の圧痛、発汗、自発射精、右腰部の軟部組織の腫脹、嘔吐および37.4度の発熱がみられた。数時間のうちに嚥下困難、めまい、頻呼吸そしてパノイアを含む他の症状もあらわれた。この患者は泡をふいて激昂し精神錯乱に陥った。10月1日に心停止し、蘇生が行われ、人工呼吸器がとりつけられた。10

月3日に行われた狂犬病の結果は陽性であった。呼吸、心拍数、血圧が徐々に低下し、患者は10月9日に死亡した。ガーナの患者の勤め先から伝えられた彼の病歴では、患者はガーナで5月に自分が飼っていた予防接種をしていない子犬に親指と足を咬まれたということであった。

ジョージア州

10月3日に26歳の男性が強い嘔吐と吐血で地元の病院を受診したが、その夜に混乱、攻撃的になり呼吸困難が出現した。10月5日に血圧低下と低酸素となり、病院に入院した。診察時に40度の発熱、瞳孔不同、唾液過多、両肺の肺雑音、そして白血球数は $46.6 \times 10^3/\text{mm}^3$ であった。10月9日に不整脈、血圧低下、そして攻撃的になり、鎮静剤と筋弛緩剤による治療が必要になった。彼は、呼吸不全と腎不全となり10月10日に死亡した。7月から患者は古い家の上の階の部屋を借りていた。彼は同僚に、コウモリが寝ている間に彼に止まったと告げていた。7月から患者が住んでいた家の調査で、屋根裏部屋に約200羽のMexican free-tailed batのコロニーが見つかった。

ミネソタ州

10月14日に47歳の男性が、6日間続いている右腕の痛みと知覚異常で地元の診療所を訪れた。10月19日にノースダコタを旅行中に39.4度の発熱、弛緩性麻痺、右上肢の感覚麻痺、胸の中央部の感覚麻痺、左上肢の知覚低下と腱反射低下および瞳孔不同で病院に入院した。検査室の検査では白血球数が $13.8 \times 10^3/\text{mm}^3$ のほかは異常が見られなかった。10月20日に患者は急性呼吸不全をおこして挿管されたが、10月25日に死亡した。友人の話では8月11日～19日に患者が右手に止まったコウモリを殺したが、その際に咬まれたということだった。患者は医療機関を受診しなかった。調査により、屋根裏部屋および居住空間に広範囲にわたって堆積したコウモリの糞が見つかった。

ウィスコンシン州

10月14日に69歳の男性が胸部の不快感、しびれ、ひりひりする痛み、左腕の震えで地元の病院に入院した。10月16日に嚔下困難、発汗、うわごと、そして間代性筋痙攣が出現した。その後、腎不全となり透析をし、呼吸不全のため人工呼吸器が必要となった。10月18日の狂犬病抗体を調べるための血清迅速蛍光阻害試験は陰性であった。患者は11月1日に死亡し、死後の脳の検査ではネグリ小体が検出された。その後の検査で狂犬病の確定診断が下された。患者は友人に年に2～3回、彼の家で素手でコウモリを退治していると話していた。患者は一週間前に友人に、昆虫に咬まれて狂犬病に罹患するか尋ねていた。

ケベック州(カナダ)

2000年9月27日、9歳の男の子が9月22日より続く左上腕痛および不眠、左腕と手の震えで地元の病院に入院した。その夜、軽度の嚔下困難、胸の上部と背中のかゆみ、一過性の斑状の発疹が出現。9月28日には、両腕の間代性筋痙攣、恐水病、恐気病、どもり、そして幻視が出現。次の日、過度の唾液分泌が見られ、震えと間代性筋痙攣が下半身にまで広がった。彼は強い不安感を示し、窒息の兆候がみられたため気管内挿管された。狂犬病の診断が考えられ、小児病院へ転院した。検査室検査では軽度の髄液蛋白の上昇が見られた以外は異常がなかった。9月29日に狂犬病検査の結果が陽性になり、狂犬病の免疫グロブリンとワクチンが患者に投与されたが、10月6日に死亡した。ヒトの狂犬病の死亡報告はカナダでは1985年以来初めてであった。

患者は8月28日に田舎風の小屋のバスルームで飛べなくなったコウモリに気がつき、父親がそれを素手で取り除いた。約3日後、患者は中央に小さな裂傷を伴う0.8インチ(2cm)の赤い斑点が左上腕にあるのを母親に見せた。その傷に対して何の治療も行っていなかった。

**MMWR編集ノート

1990年以降米国では狂犬病患者32人が報告されているが、そのうち30例は土着の食虫コウモリ関連、あるいは海外での犬咬傷によるものであることが判明している。24人(74%)がコウモリに関連していたにもかかわらず、咬まれた事実を確認できたのは2人のみであった。他の患者の約半数がコウモリに接触歴があり、内容はコウモリによる咬み付き、コウモリに咬まれる可能性のある直接接触、直接接触が推測される状況、などである。犬の狂犬病はアフリカ、アジア、ラテンアメリカで流行している。世界での狂犬病による死亡者は毎年50,000人を超えており、95%以上は犬の狂犬病の流行地で発生している。

ヒトが動物に咬まれたりひっかかれたら傷を徹底的に洗い、早急にワクチン等の曝露後接種(PEP)の必要性について医学的な判断を下してもらうべきである。コウモリと人の接触があったか、または疑われる人は、コウモリを捕獲し狂犬病の検査をするべきである。もしコウモリが捕獲できない場合、咬み傷やひっかき傷が確認されなかったり、粘膜への接触がなかったとしても、人とコウモリの間で直接接触があったらPEPを考慮するべきである。PEPはコウモリがいる部屋にいた人、またコウモリに咬まれたり直接に接触したと気が付いていない人(例えば目覚めると部屋にコウモリがいた場合や、付き添いのいない子供、精神障害者、または中毒患者がいる部屋でコウモリがいることを目撃された場合など)に接種を考慮すべきである。



感染症の話

下痢原性大腸菌感染症

下痢原性大腸菌は表1に示す通り5種類に分類され、その疫学、病原性についてはおのおの異なる。このうち腸管出血性大腸菌(EHEC)については本週報、第29号、1999年を参照されたい。

疫学

1) 腸管病原性大腸菌(EPEC)

先進国とは異なり開発途上国においては、EPECは現在でも乳幼児胃腸炎の依然として重要な原因菌である。ブラジル、メキシコなど中南米を中心とした地域の乳幼児胃腸炎の患者からのEPECの検出が多い。EPEC感染症は成人においても発生し、わが国においても毎年5～10件のEPECによる食中毒が発生している。

2) 腸管侵入性大腸菌(EIEC)

EIEC感染症は一般に発展途上国や東欧諸国に多く、先進国では比較的まれである。その媒介体は食品または水であるが、ときにはヒトからヒトへの感染もある。現在、わが国におけるEIECの分離の多くは海外渡航者の旅行者下痢からである。

3) 毒素原性大腸菌(ETEC)

ETECは途上国における乳幼児下痢症の最も重要な原因菌であり、先進国においてはこれらの国々への旅行者にみられる旅行者下痢症の主要な原因菌である。また、途上国においてはETEC下痢症はしばしば致死的で、幼若年齢層の死亡の重要な原因である。ETECの感染は多くの場合、水を介しての感染であると考えられている。わが国においては下痢原性大腸菌による食中毒事例のなかではETECによる発生件数がもっとも多い。

4) 腸管凝集性大腸菌(EAEC)

開発途上国の乳幼児下痢症患者からよく分離される。わが国ではEAEC下痢症の散発事例はあるが、食中毒、集団発生事例の報告は少ない。比較的新しい菌群であり、自然界での分布も明らかでない。

表 1. 下痢原性大腸菌の分類

1	腸管病原性大腸菌(enteropathogenic <i>Escherichia coli</i> , EPEC) : attaching and effacing 病変を生じる。細胞接着性あり。
2	腸管侵入性大腸菌(enteroinvasive <i>Escherichia coli</i> , EIEC) : 細胞侵入性を持つ。
3	腸管出血性大腸菌(enterohemorrhagic <i>Escherichia coli</i> , EHEC) または志賀毒素産生性大腸菌(shiga toxin-producing <i>Escherichia coli</i> , STEC) : 志賀毒素、エンテロヘモリシンを産生する。
4	毒素原性大腸菌(enterotoxigenic <i>Escherichia coli</i> , ETEC) : 易熱性、耐熱性エンテロトキシンを産生する。
5	腸管凝集性大腸菌(enteroaggregative <i>Escherichia coli</i> , EAEC) : EAST1を産生する。細胞接着性あり。 EAST1= EAEC耐熱性毒素

臨床所見

EPECによる症状は下痢、腹痛、発熱、嘔吐などで、乳幼児においてはしばしば非細菌性胃腸炎やETEC下痢症より重症で、コレラ様の脱水症状がみられることがある。ETECによる主症状は下痢であり嘔吐を伴うことも多いが、腹痛は軽度で発熱もまれである。しかし重症例、特に小児の場合コレラと同様に脱水症状に陥ることがある。EPEC、ETEC感染症における潜伏期間は12～72時間であるが、それより短い場合もある。EIECによる症状は下痢、発熱、腹痛であるが、重症例では赤痢様の血便または粘血便、しぶり腹などがみられ、臨床的に赤痢と区別するのは困難である。潜伏期間は一定しないが、通常12～48時間である。EAECによる症状は2週間以上の持続性下痢として特徴づけられるが、一般には粘液を含む水様性下痢および腹痛が主で、嘔吐は少ない。

病原体

1)腸管病原性大腸菌(EPEC)

EPECは培養細胞に原則として限局型接着(localized adhesion, LA、図1)をする。これはEPECの持つEAF(EPEC adherence factor)プラスミドによるもので、腸管粘膜付着に關与する線毛(bundle-forming pilus, BFP)の形成による接着である。その後、粘膜上皮細胞への付着に伴う微細絨毛の破壊、アクチンの重合による上皮細胞骨格の障害、細胞膜の陥没および破壊が生じ、いわゆるattaching and effacing(A/E)傷害を引き起こす。

2)腸管侵入性大腸菌(EIEC)

EIECの病原性は赤痢菌のそれと同じと考えられており、菌の粘膜上皮細胞への侵入、増殖、隣接細胞への伝播による上皮細胞の壊死、脱落、潰瘍形成や炎症像がみられる。赤痢菌と同様に120～140メガダルトンの病原性プラスミドを保持する。

3)毒素原性大腸菌(ETEC)

ETECは粘膜上皮細胞に付着するための因子(colonization factor antigen, CFA)を有し、これを介して上皮細胞に接着する。粘膜上皮に接着した菌はそこで増殖し、易熱性エンテロトキシン(heat-labile enterotoxin, LT) 耐熱性エンテロトキシン(heat-stable enterotoxin, ST)の両方、またはいずれか一方を産生して下痢を引き起こす。

4)腸管凝集性大腸菌(EAEC)

EAECの培養細胞に対する付着能は、EPECとは異なる接着因子、プラスミドにコードされるAAF線毛(aggregative adherence fimbriae)によるものであり、主として凝集型接着(aggregative adhesion, AA、図1)をするが例外もある。菌が粘膜上皮細胞に接着した後増殖し、耐熱性エンテロトキシン(EAST1)を産生して下痢を惹起すると考えられている。

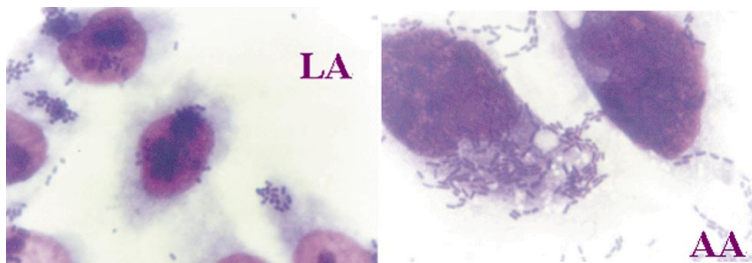


図1

病原診断

患者便、原因食品から大腸菌を分離し、その生化学的性状、血清型を調べるとともに毒素産生性、細胞侵入性、細胞付着性などについて病原因子を調べる。病原因子の検査方法については培養細胞を用いた生物学的方法や標的遺伝子の検出による遺伝学的方法があり、各病原因子のプライマーを用いたPCRが一般的に応用されている。EPECについては培養細胞付着性、EAFプラスミド、BFP、*eae* 遺伝子の有無について調べる。EIECでは培養細胞侵入性、病原性プラスミドの有無、ETECについてはLT, ST, CFAの有無、EAECについては、培養細胞付着性、AAF、EAST1の有無について調べる。

治療・予防

治療は基本的には赤痢やサルモネラ症と同様で、対症療法と抗生物質の投与が中心である。特にETEC感染症の場合は脱水症状に対する輸液が必要となる。予防対策としては、食品からの汚染を避けるために、食品の十分な加熱、調理後の長期の食品保存を避けるなどの注意が大切である。また、発展途上国等への旅行では、飲水として殺菌したミネラルウォーター等を飲用するなどの心がけも必要である。ヒトからヒトへの二次感染に対しては、手洗いを徹底することで予防することができる。

食品衛生法での取り扱い

食中毒が疑われる場合は、24時間以内に最寄りの保健所に届け出る。

発生動向調査について

下痢原性大腸菌感染症(腸管出血性大腸菌感染症を除く)は、感染症法では4類感染症(定点把握疾患)として規定されている「感染性胃腸炎」の起病病原体の一つである。感染性胃腸炎は、都道府県知事によって指定された約3,000の小児科定点となった病院あるいは診療所より週単位で報告される。

(国立感染症研究所細菌部 寺嶋 淳)

【訂正】

2000年第49週(通巻第2巻第49号)の「感染症の話 (腸炎ビブリオ感染症 : P10-12)」において、図3のキャプションに誤りがありましたので、以下のとおり訂正いたします。

図3. 腸炎ビブリオの電子顕微鏡写真

< 誤 > 上 : 波上の長い単毛。

< 正 > 上 : 波状の長い単毛。



読者のコーナー

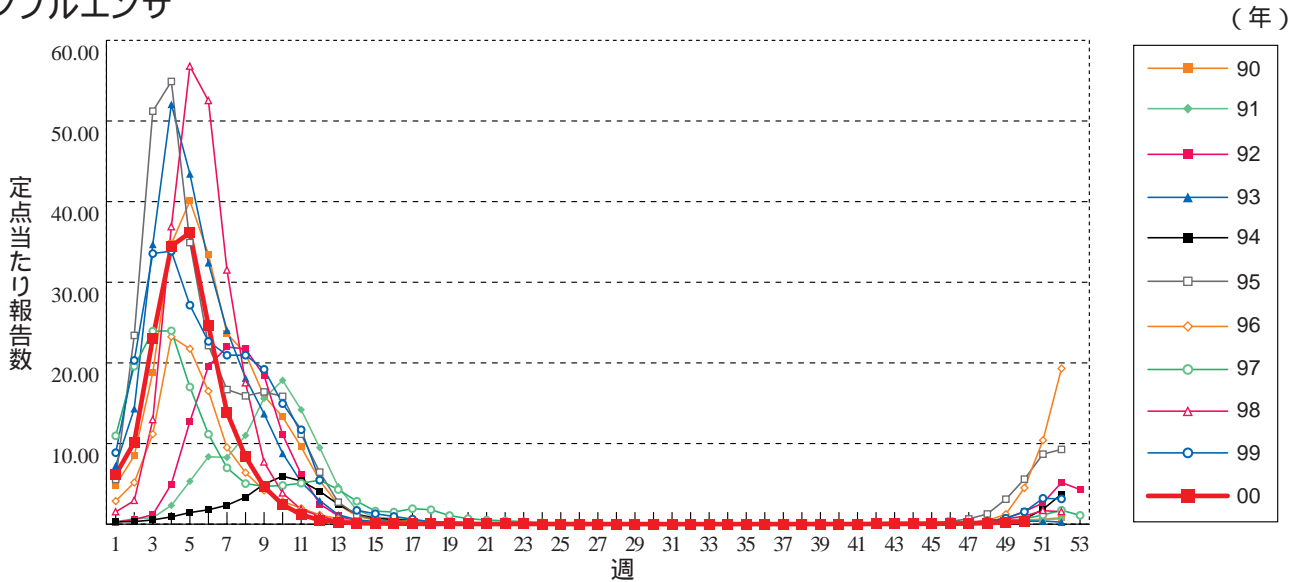
「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

idsc-query@nih.go.jp

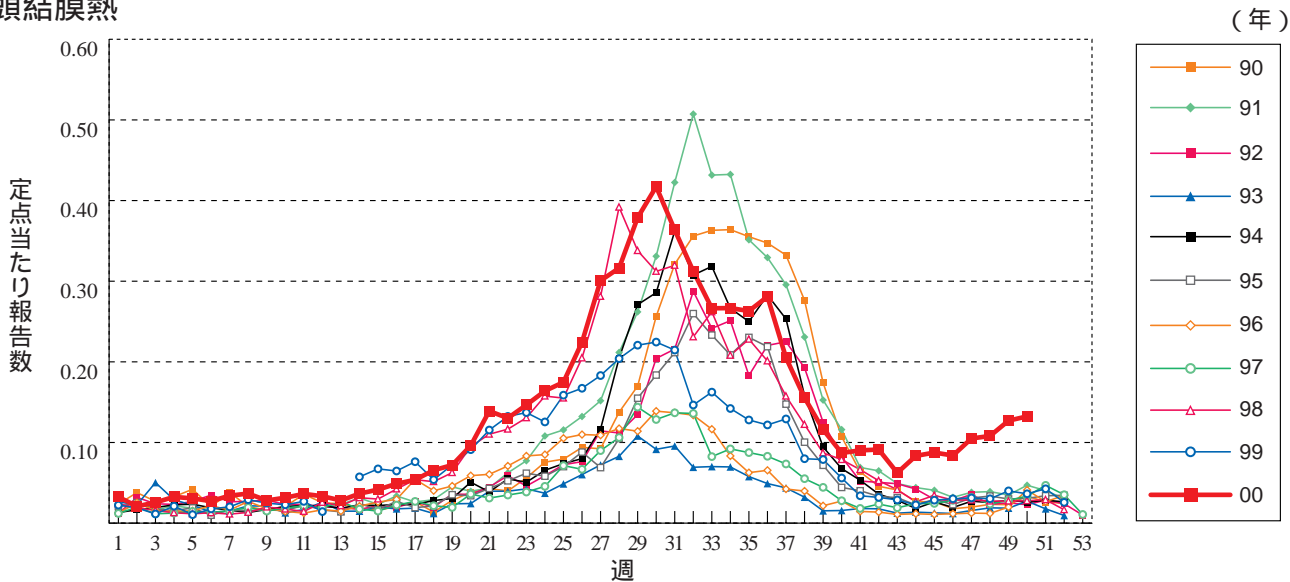


グラフ総覧(50週)

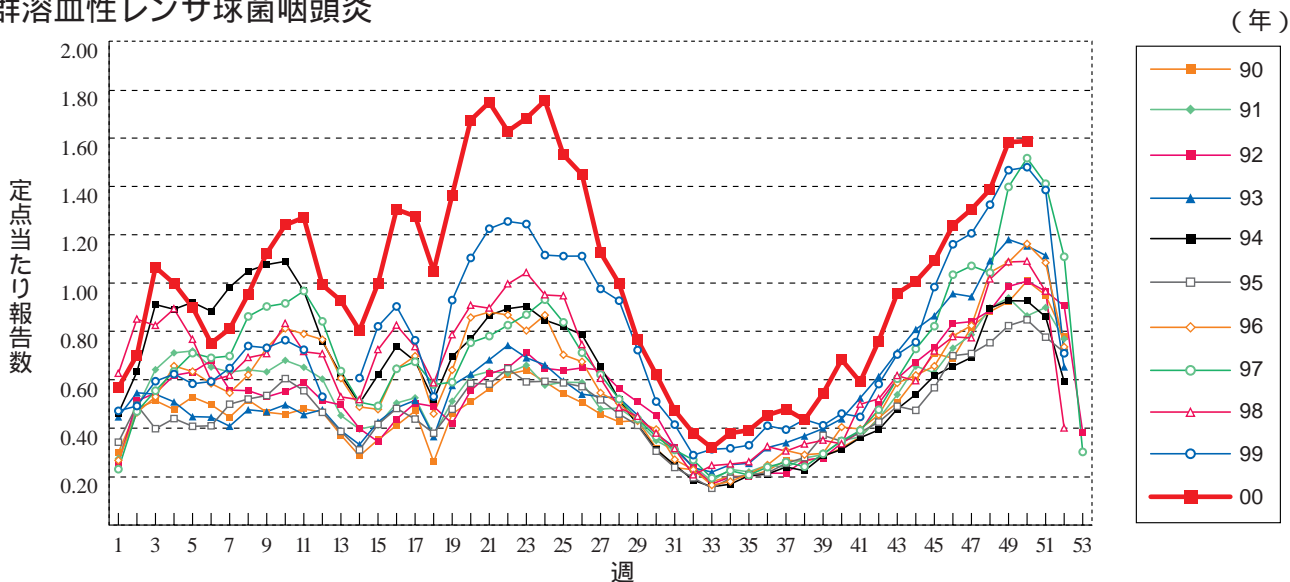
インフルエンザ



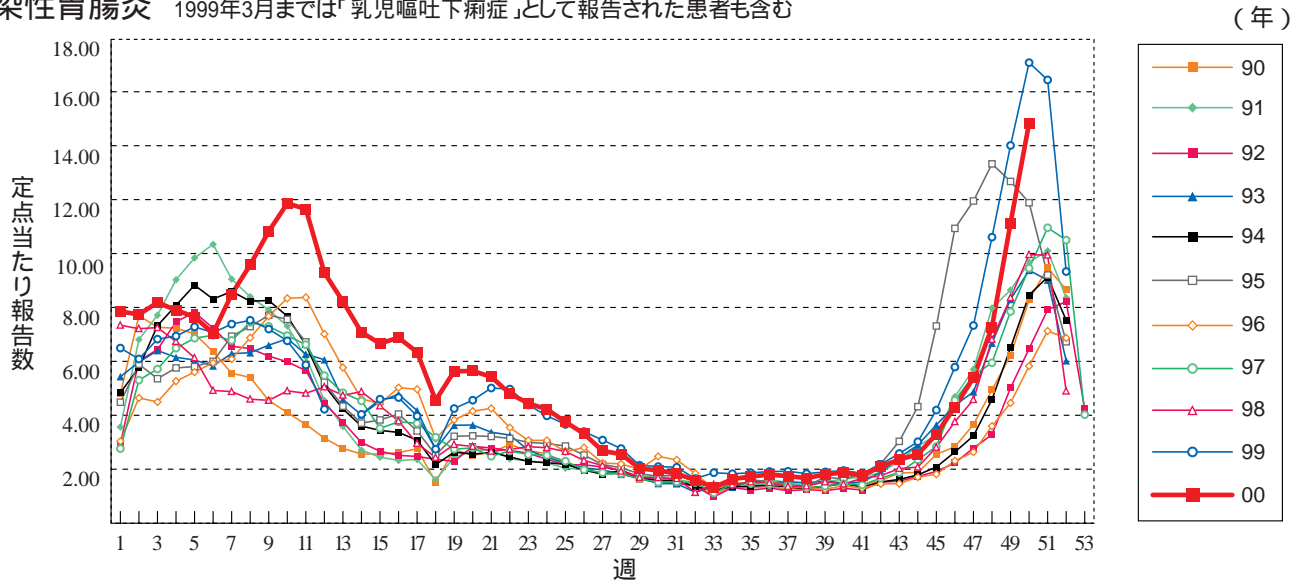
咽頭結膜熱



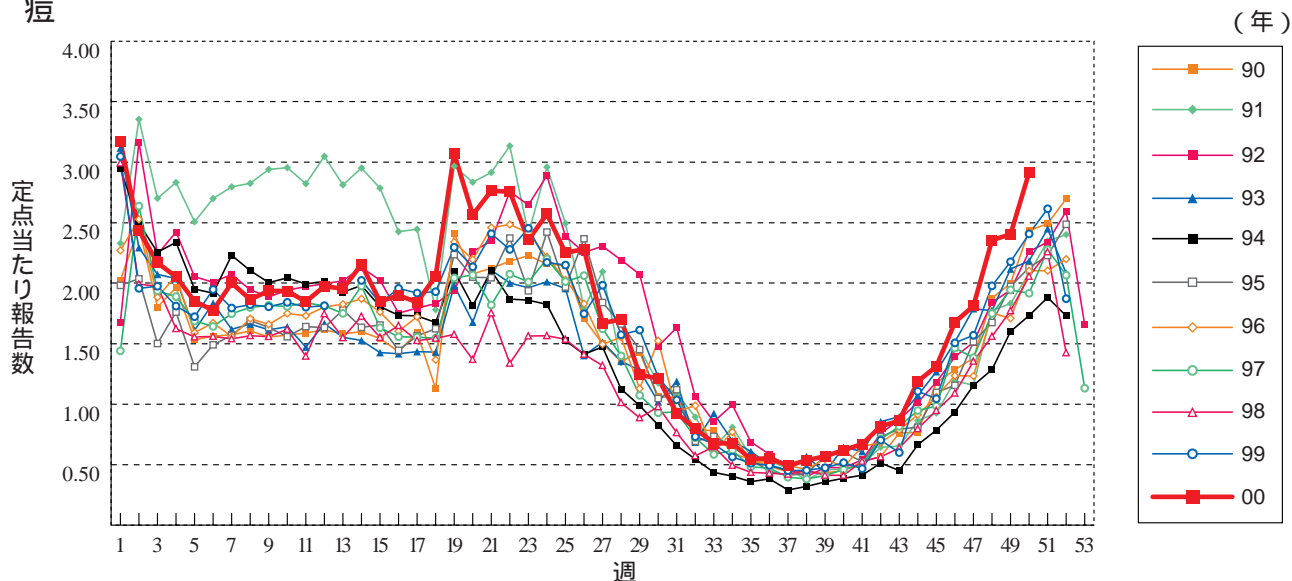
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



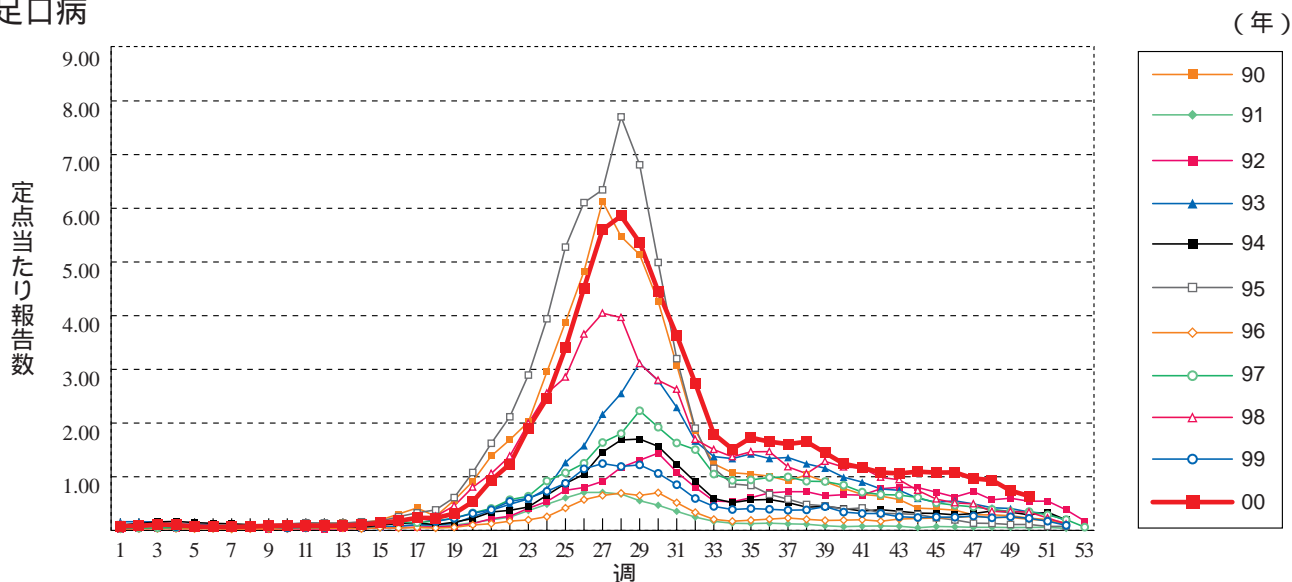
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



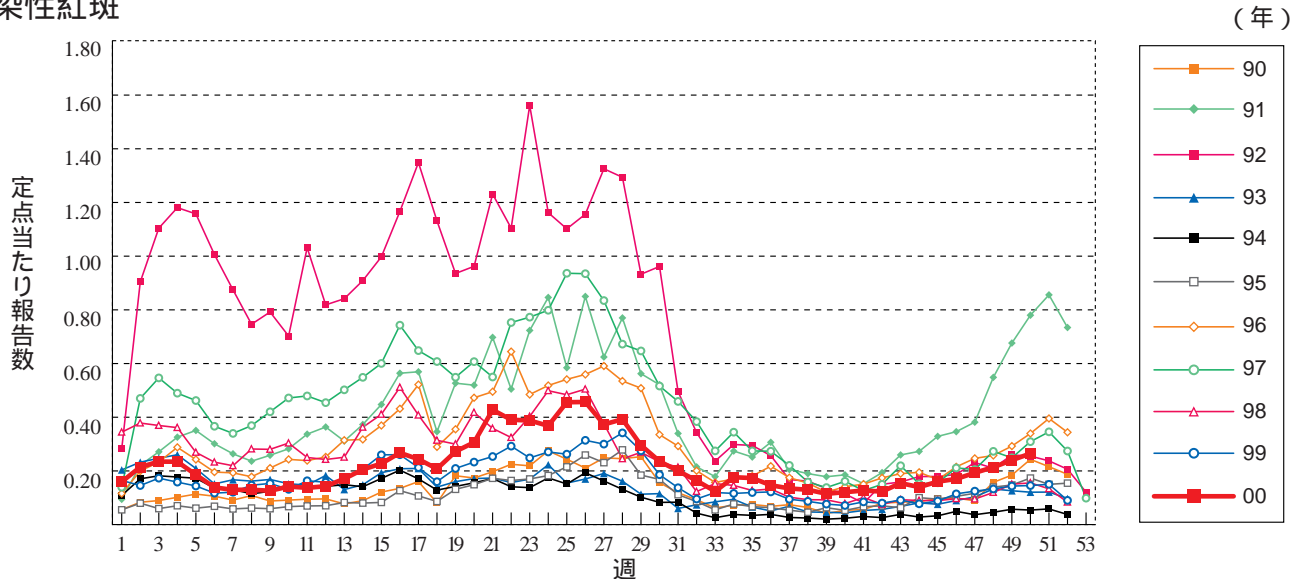
水痘



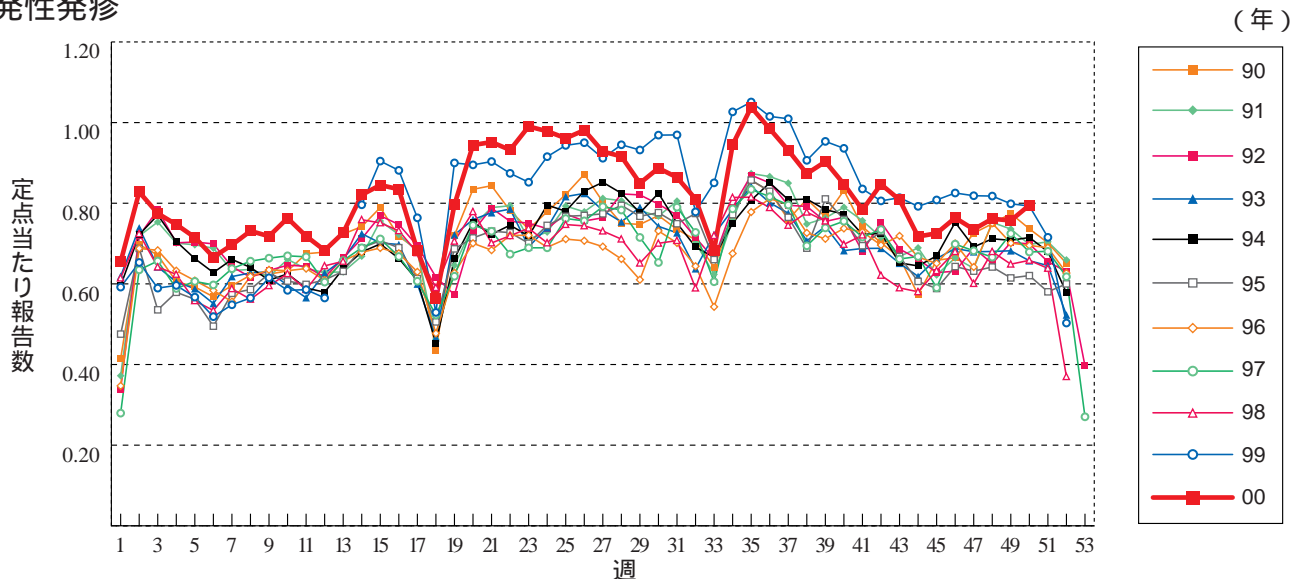
手足口病



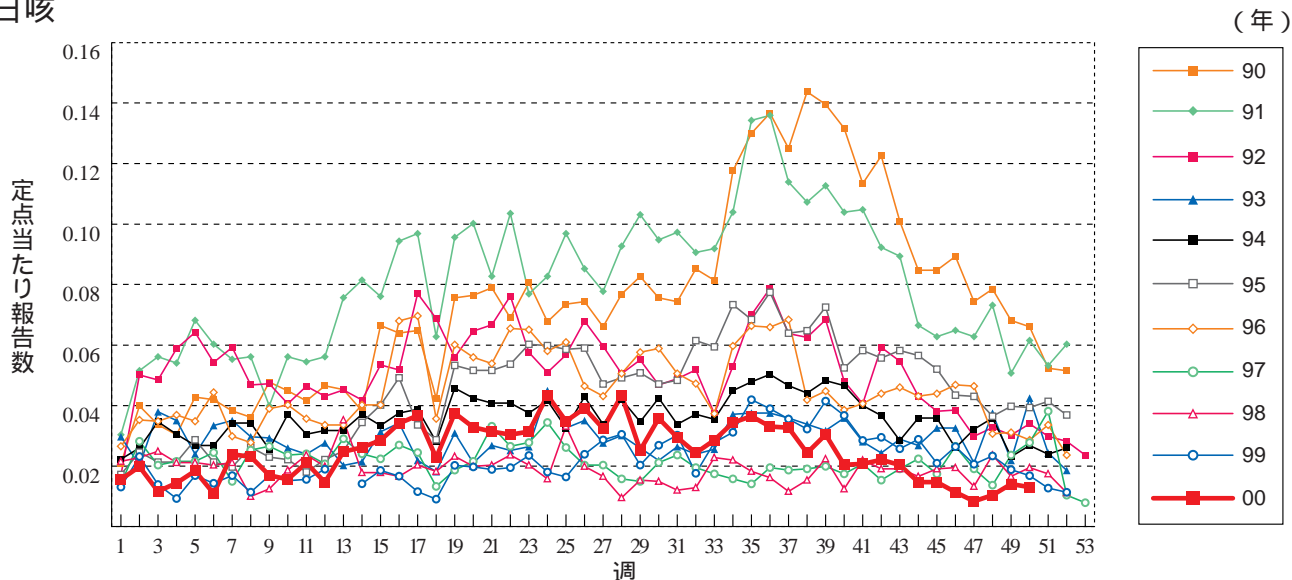
伝染性紅斑



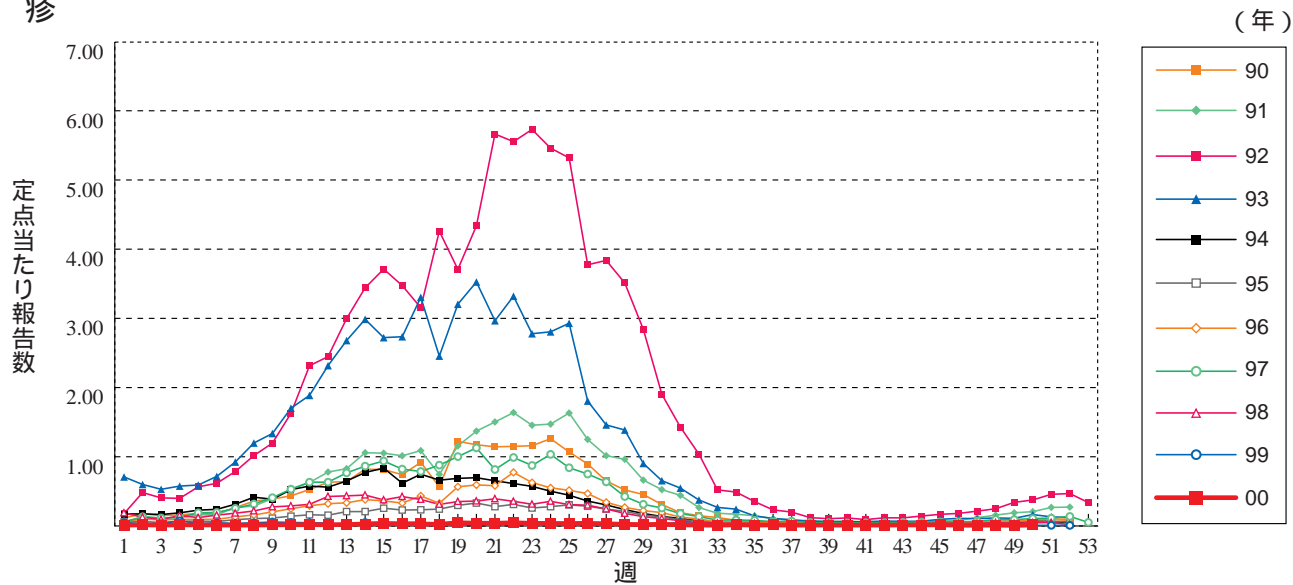
突発性発疹



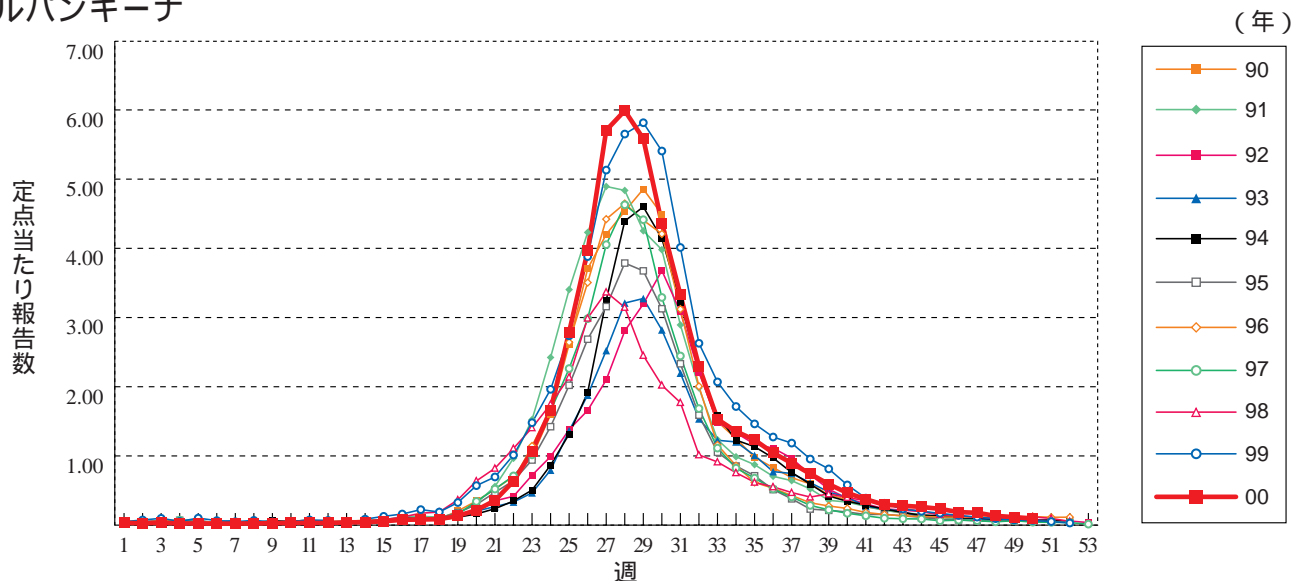
百日咳



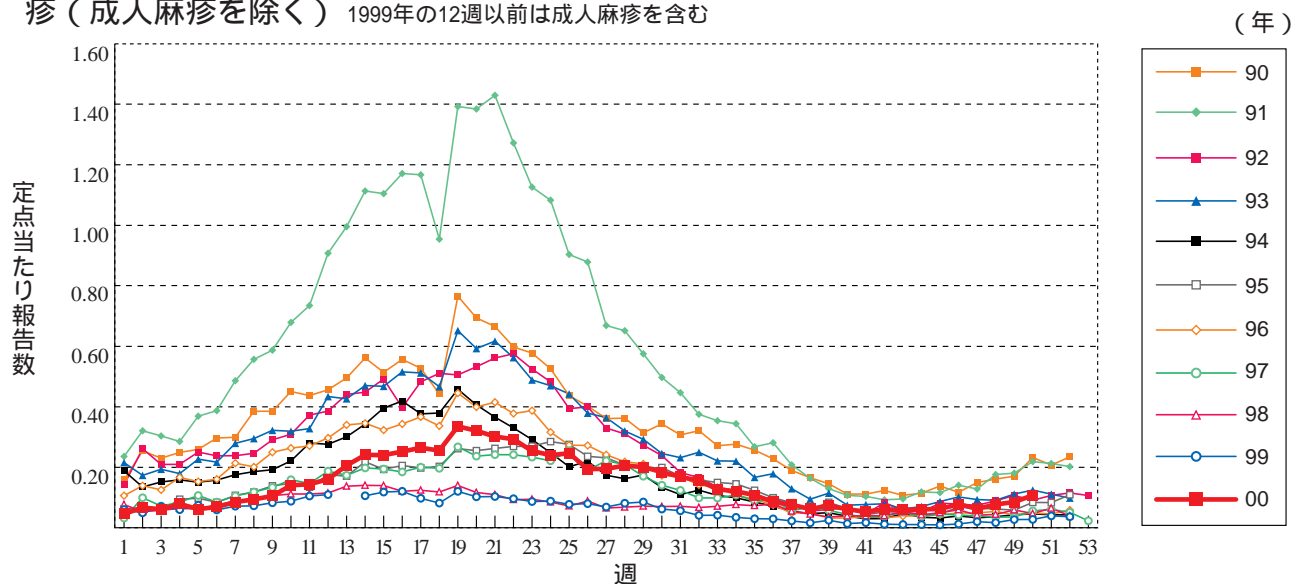
風 疹



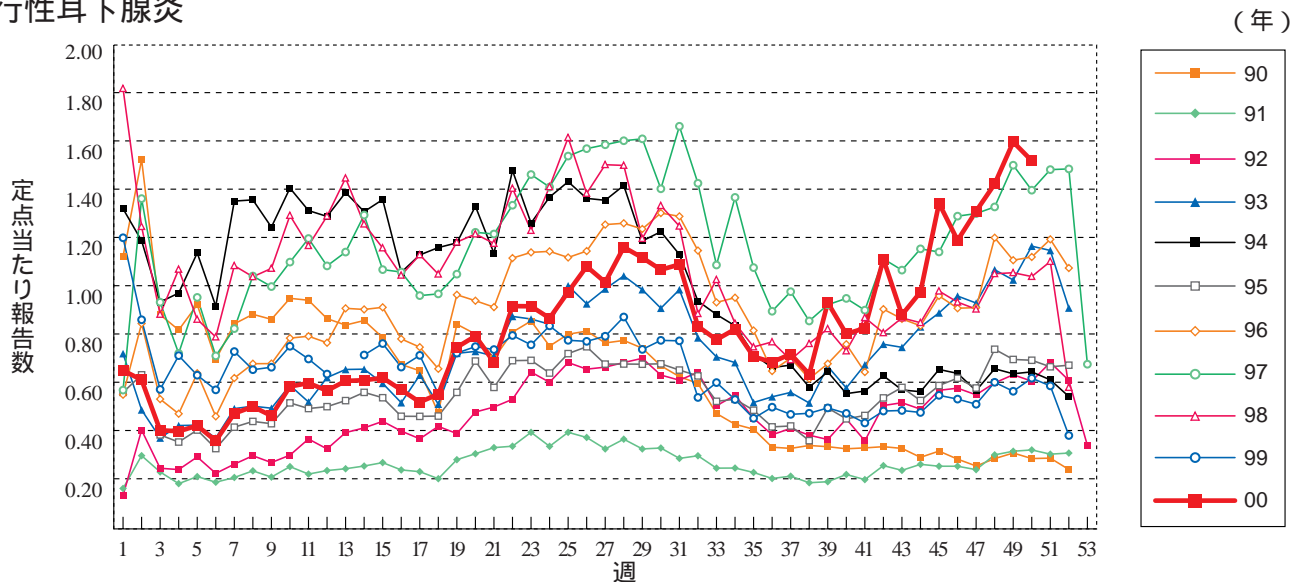
ヘルパンギーナ



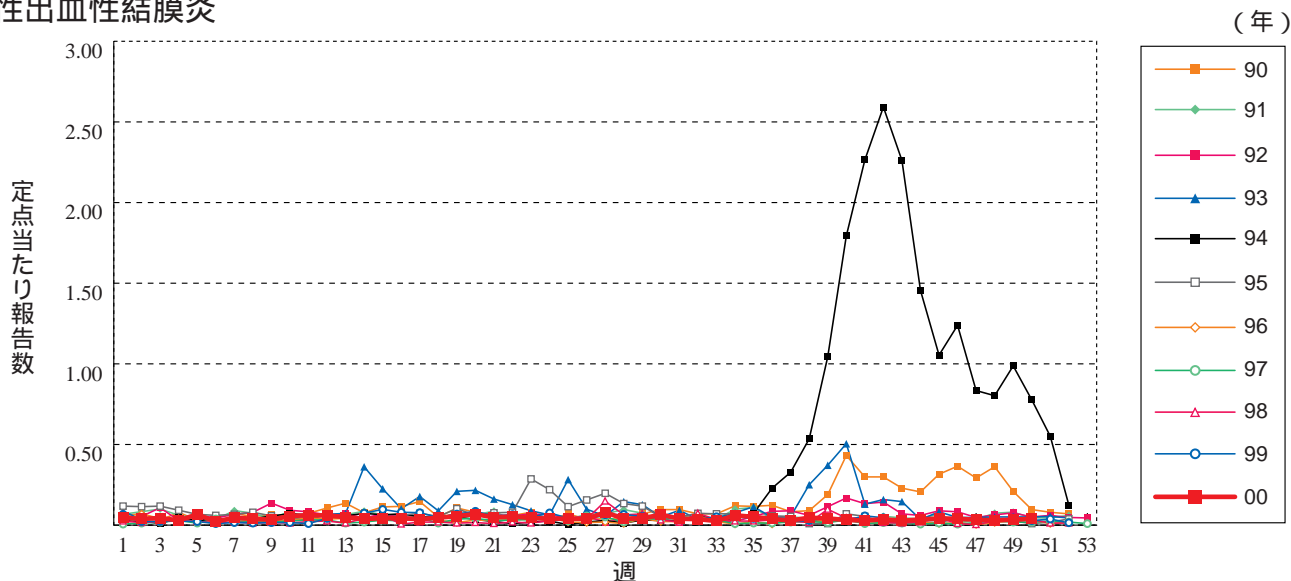
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



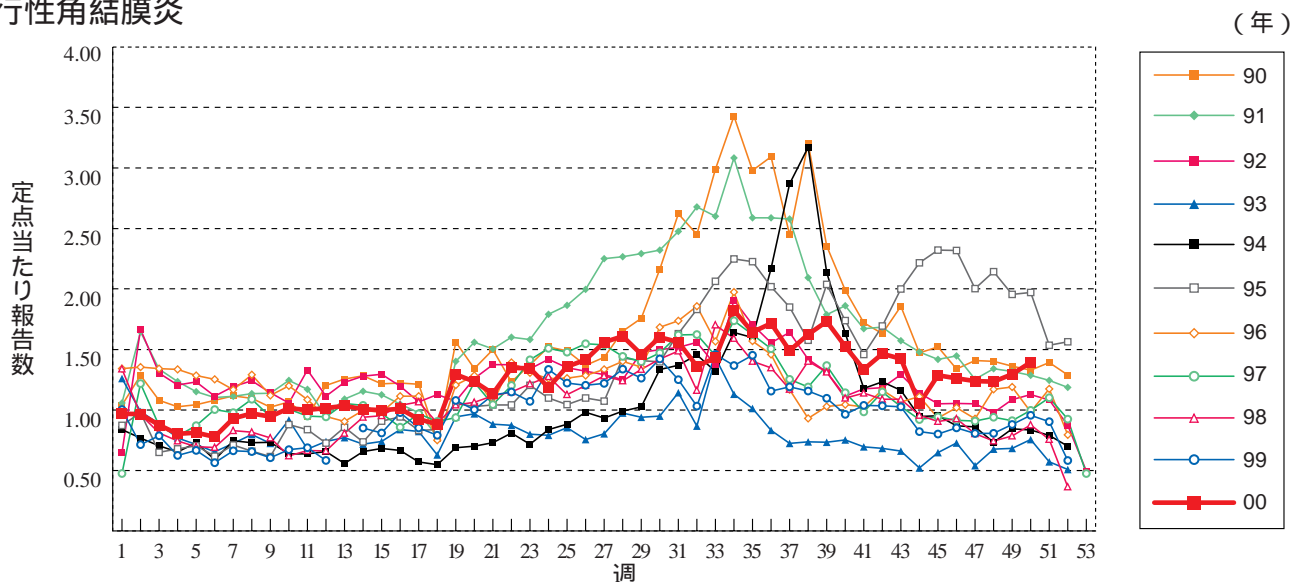
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

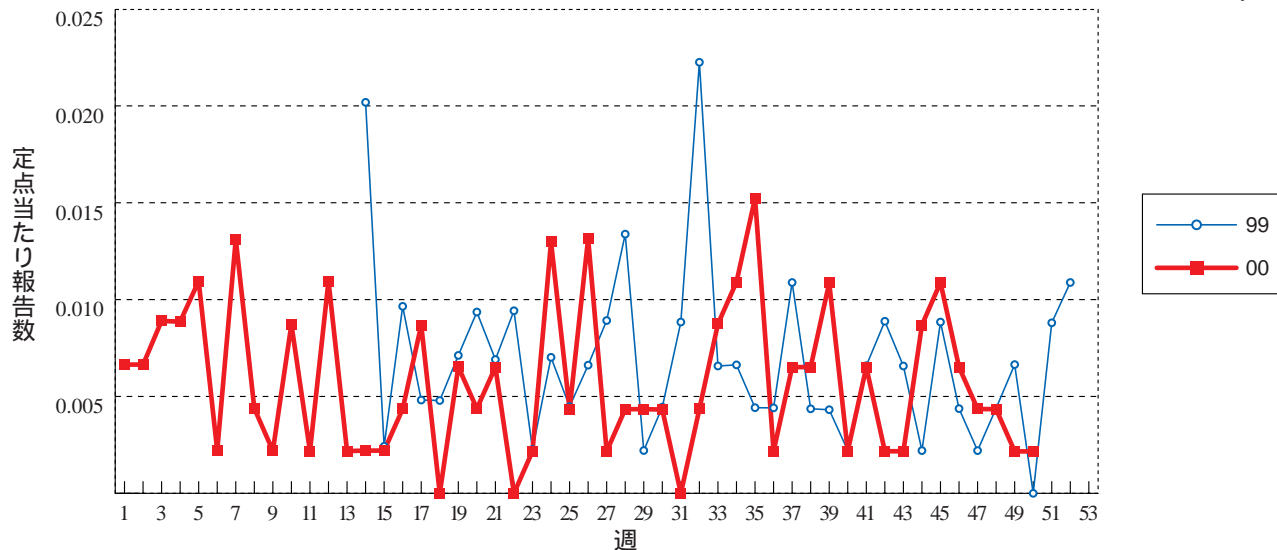


流行性角結膜炎



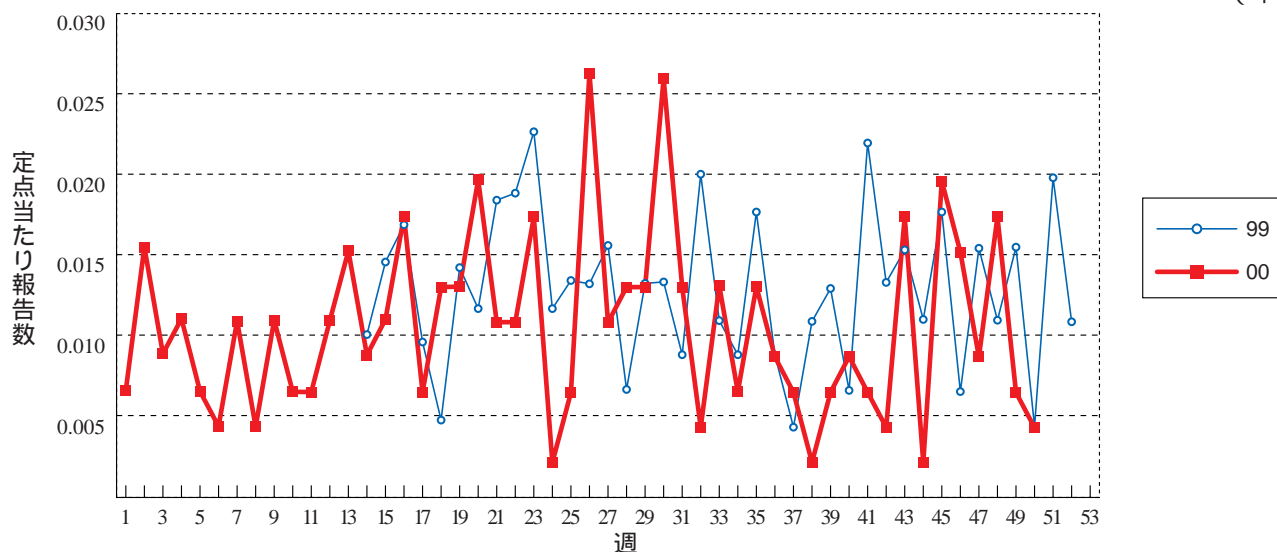
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



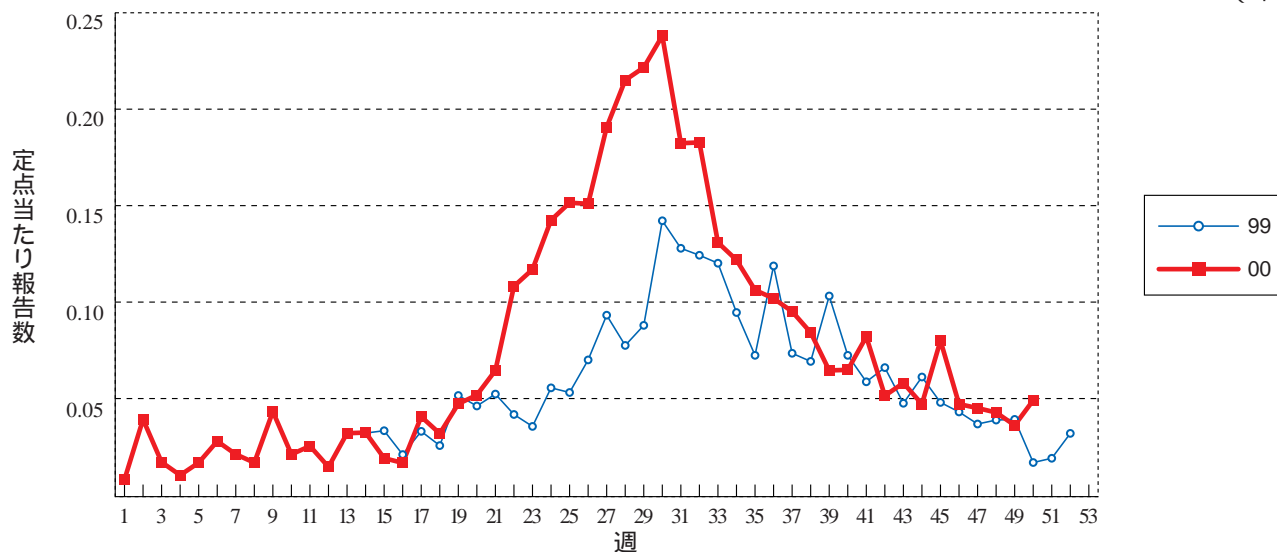
細菌性髄膜炎

(年)



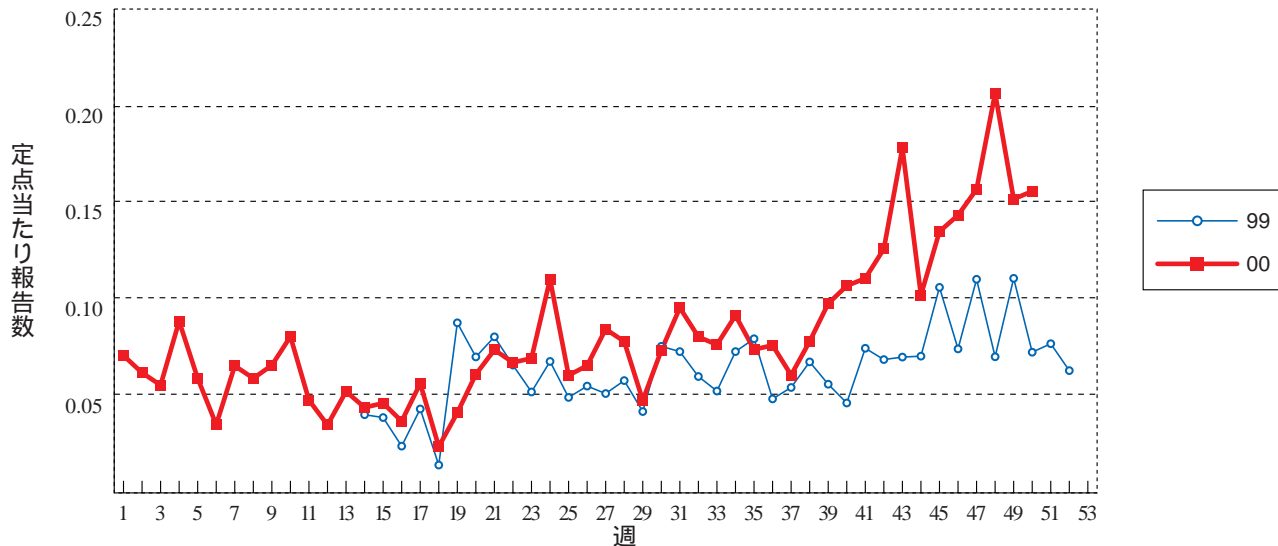
無菌性髄膜炎

(年)



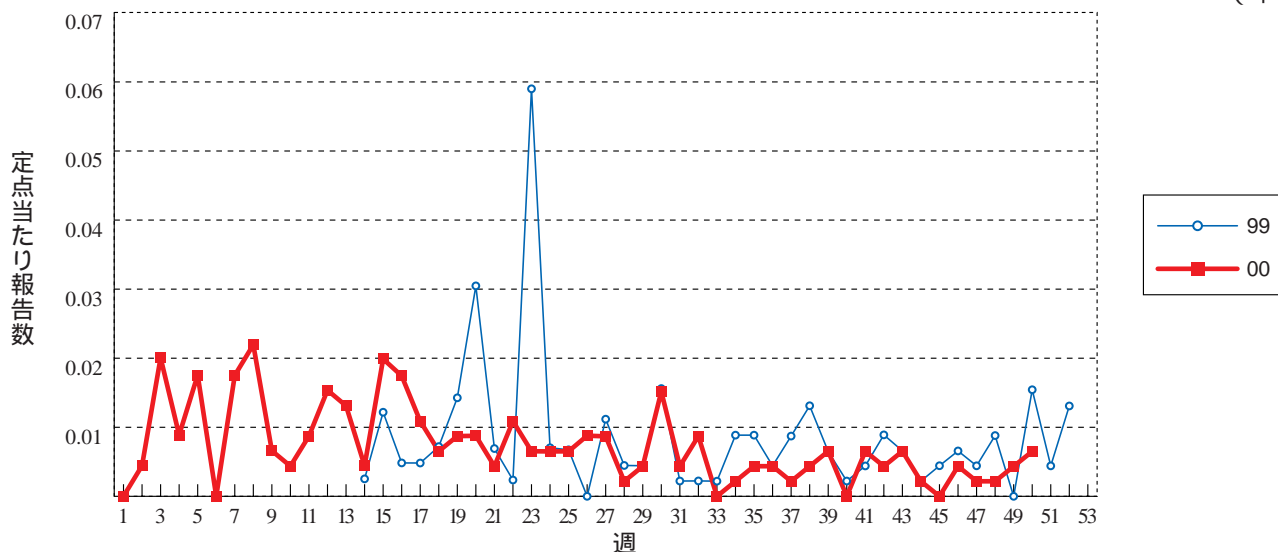
マイコプラズマ肺炎

(年)



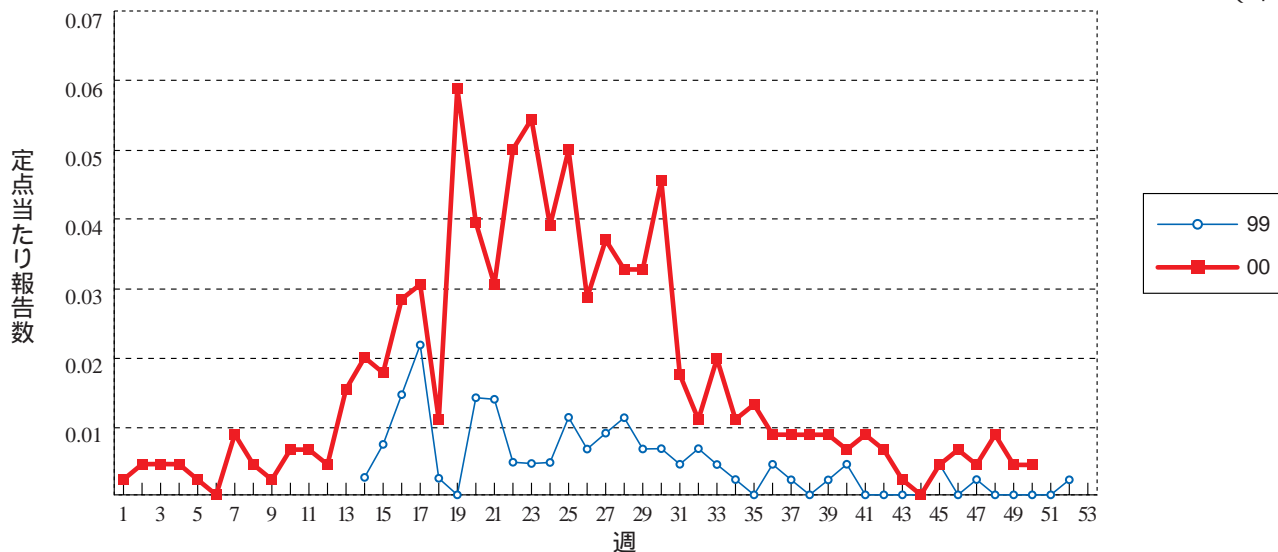
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)

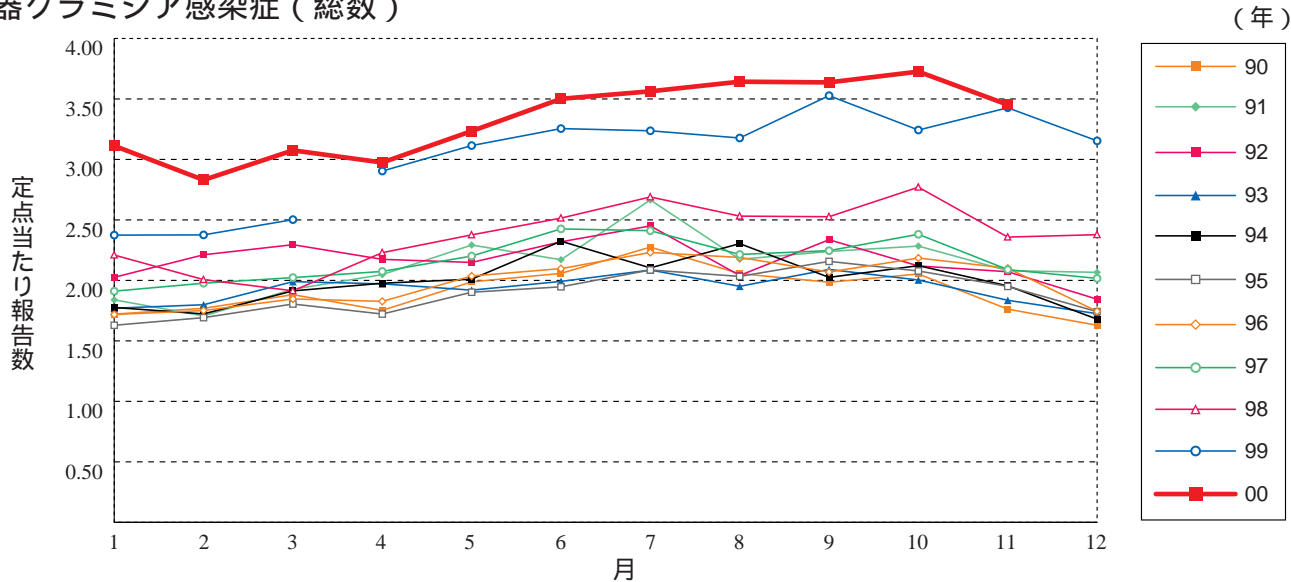




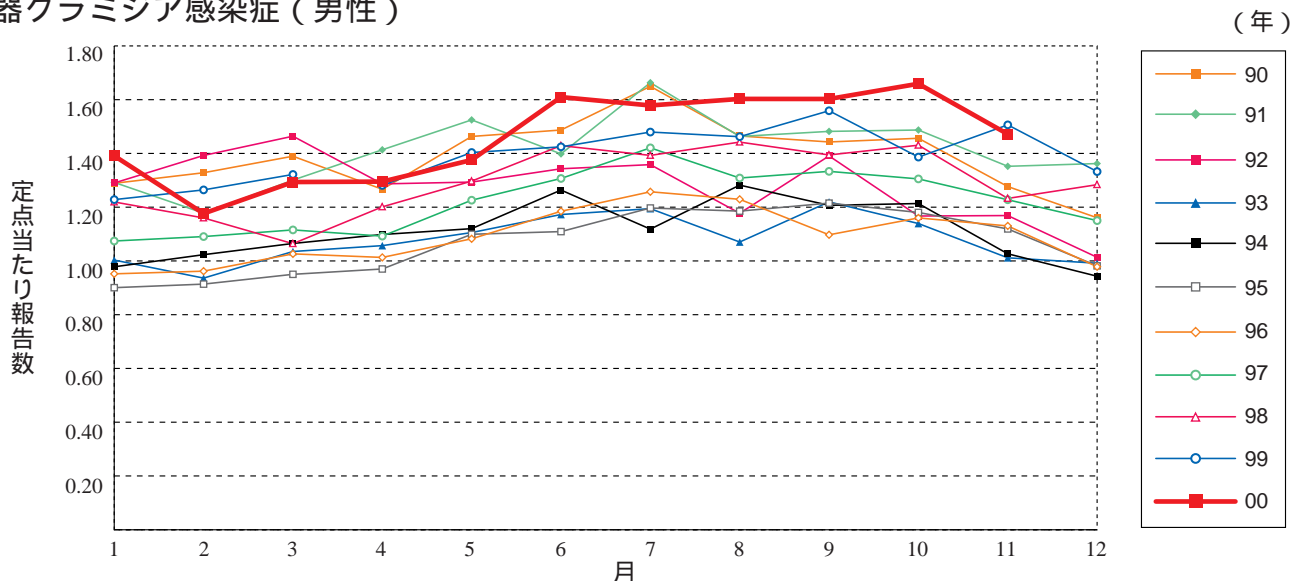
グラフ総覧(11月)

注)1999年4月以降は定点設定が変更されております。

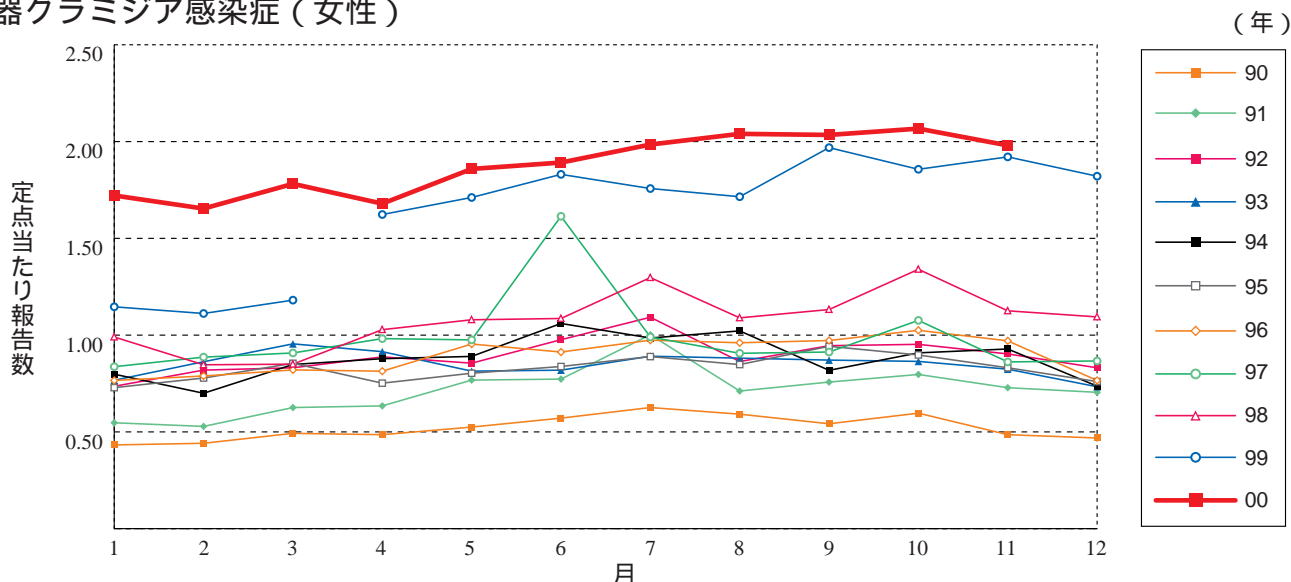
性器クラミジア感染症(総数)



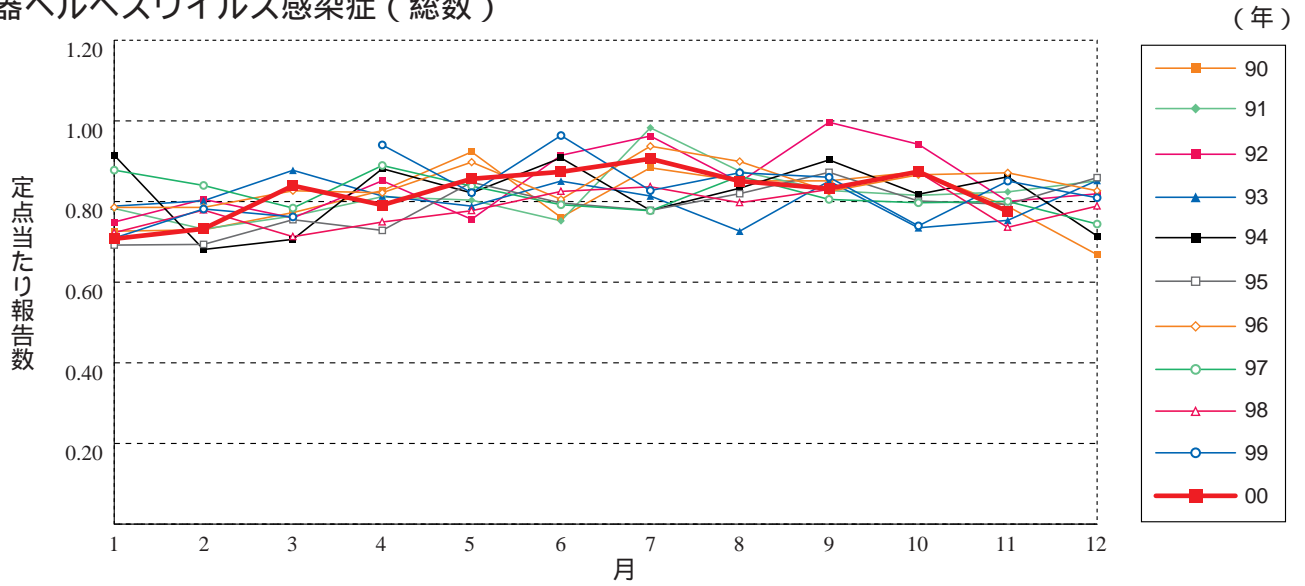
性器クラミジア感染症(男性)



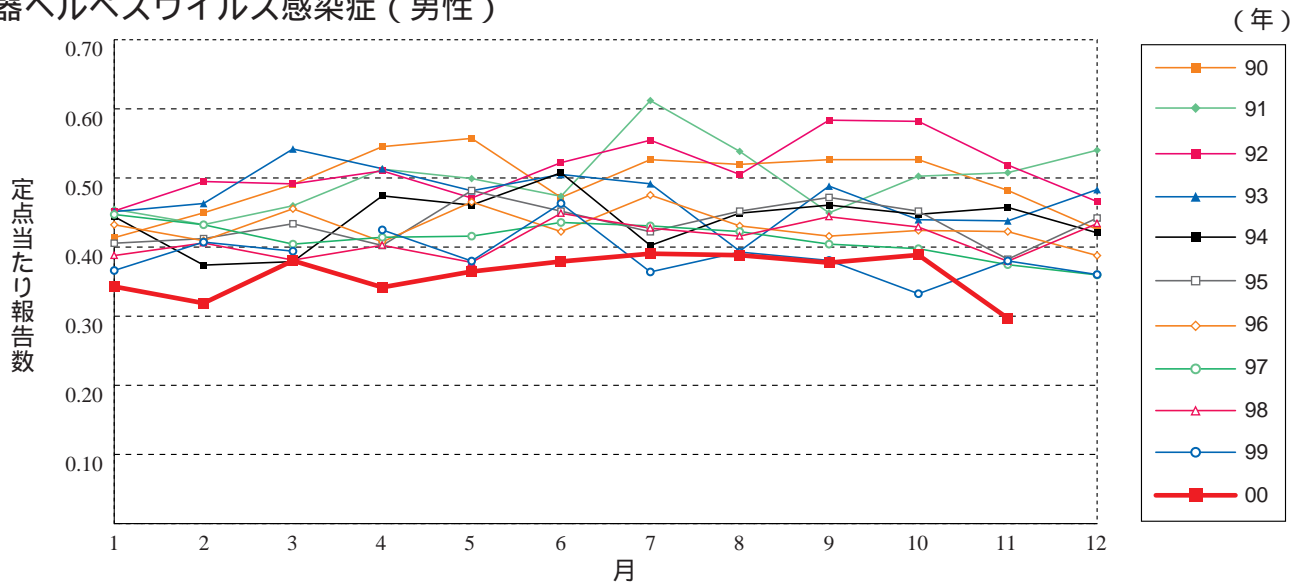
性器クラミジア感染症(女性)



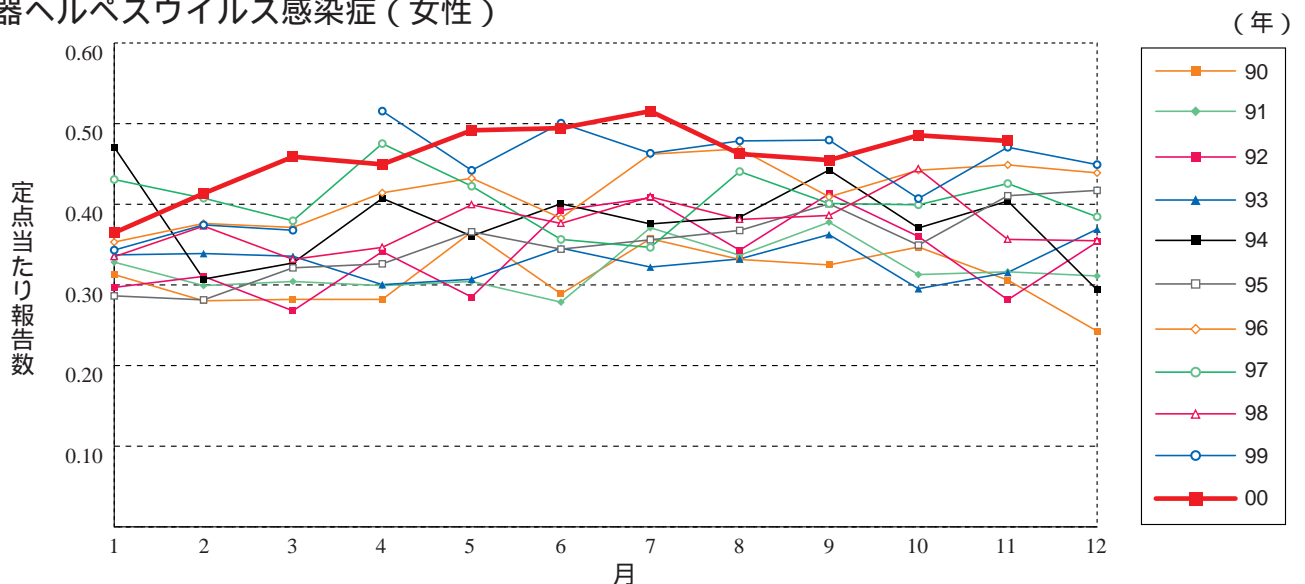
性器ヘルペスウイルス感染症（総数）



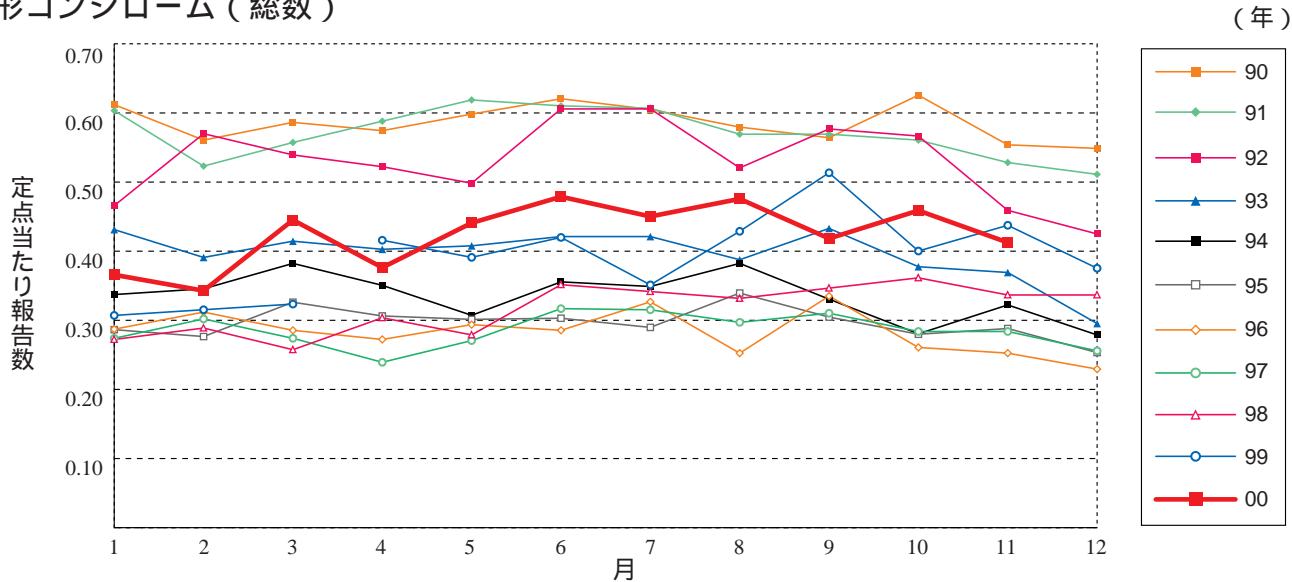
性器ヘルペスウイルス感染症（男性）



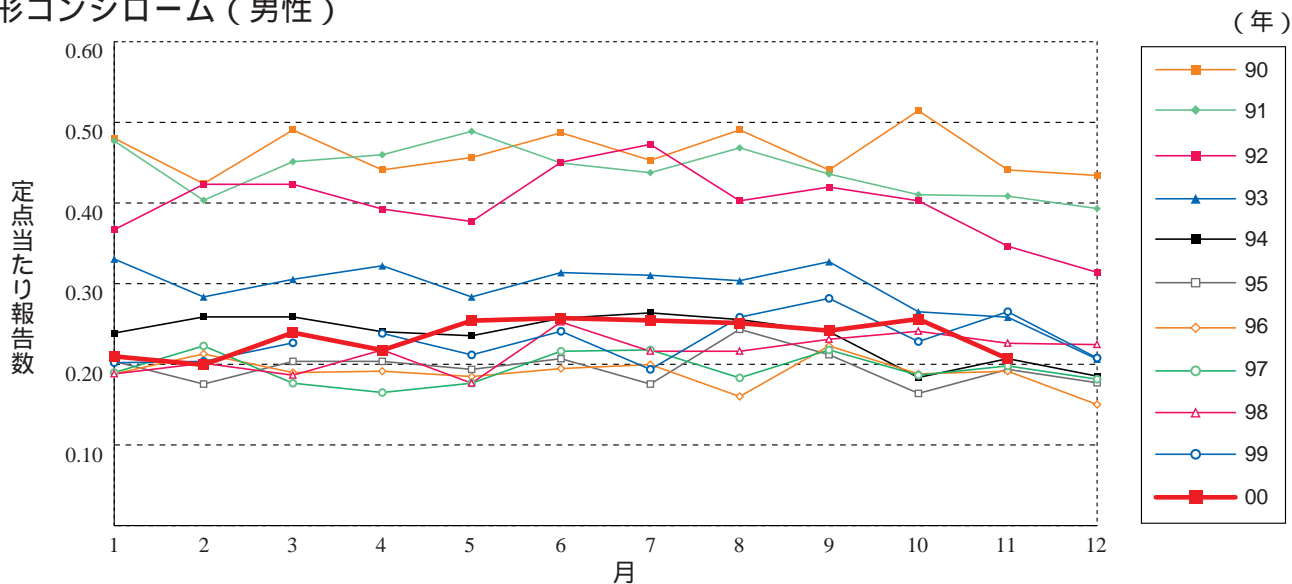
性器ヘルペスウイルス感染症（女性）



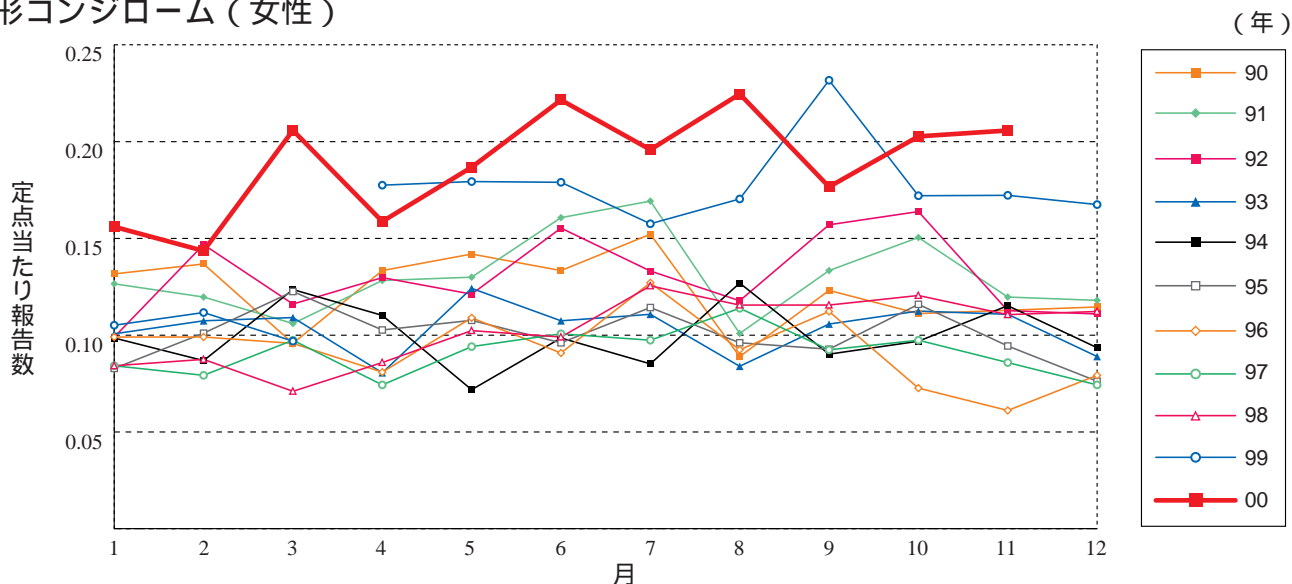
尖形コンジローム (総数)



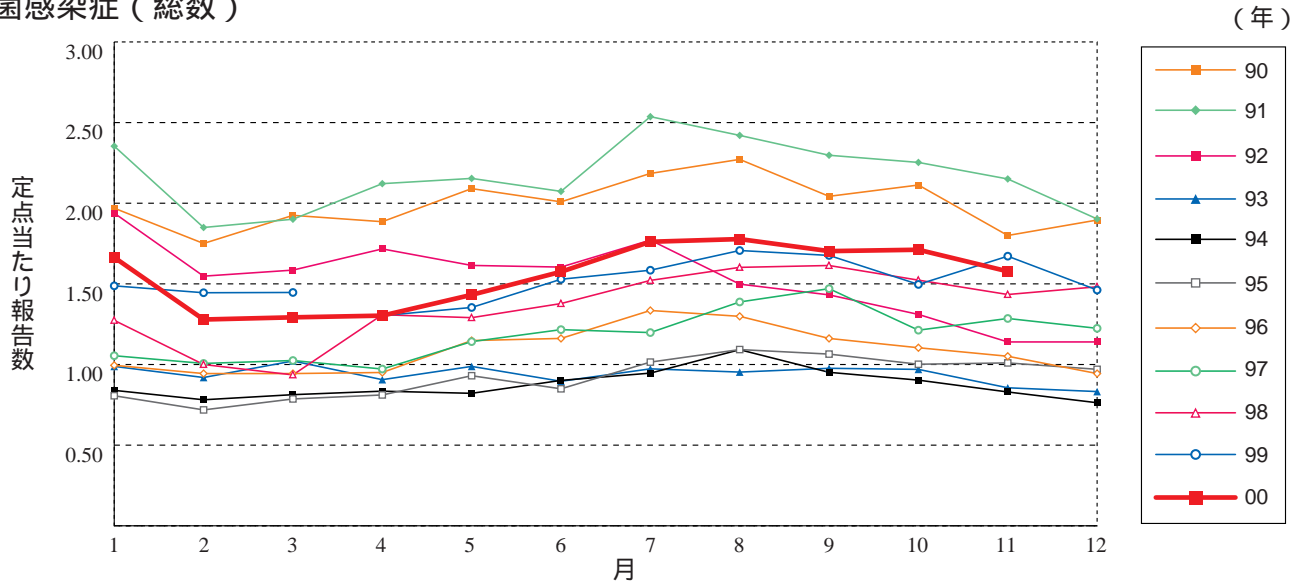
尖形コンジローム (男性)



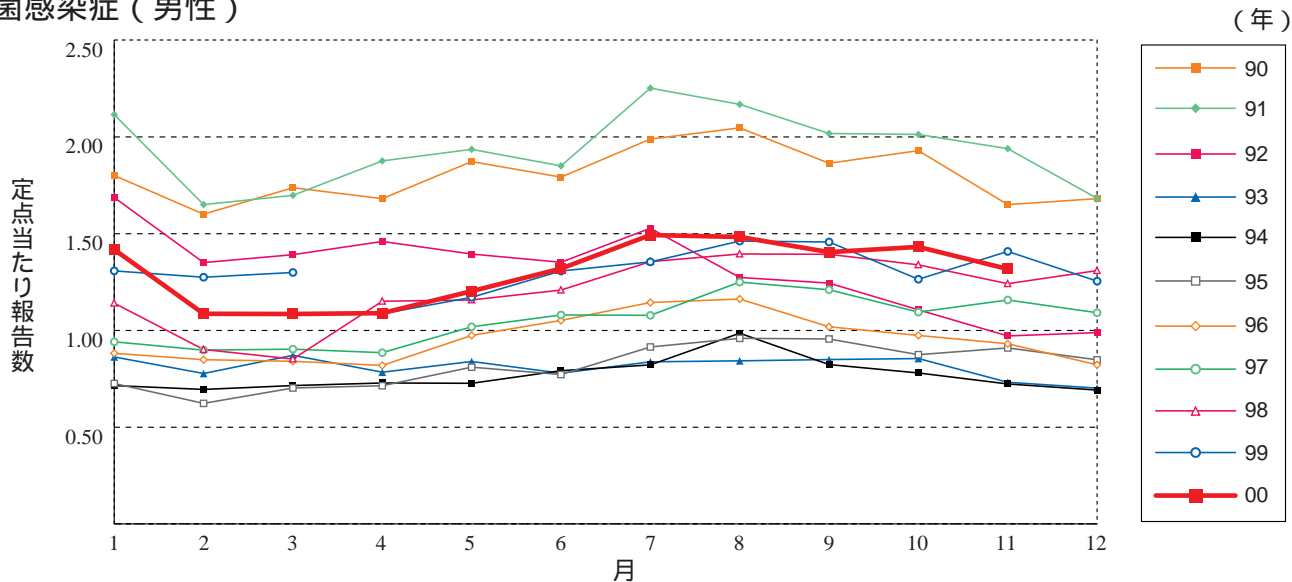
尖形コンジローム (女性)



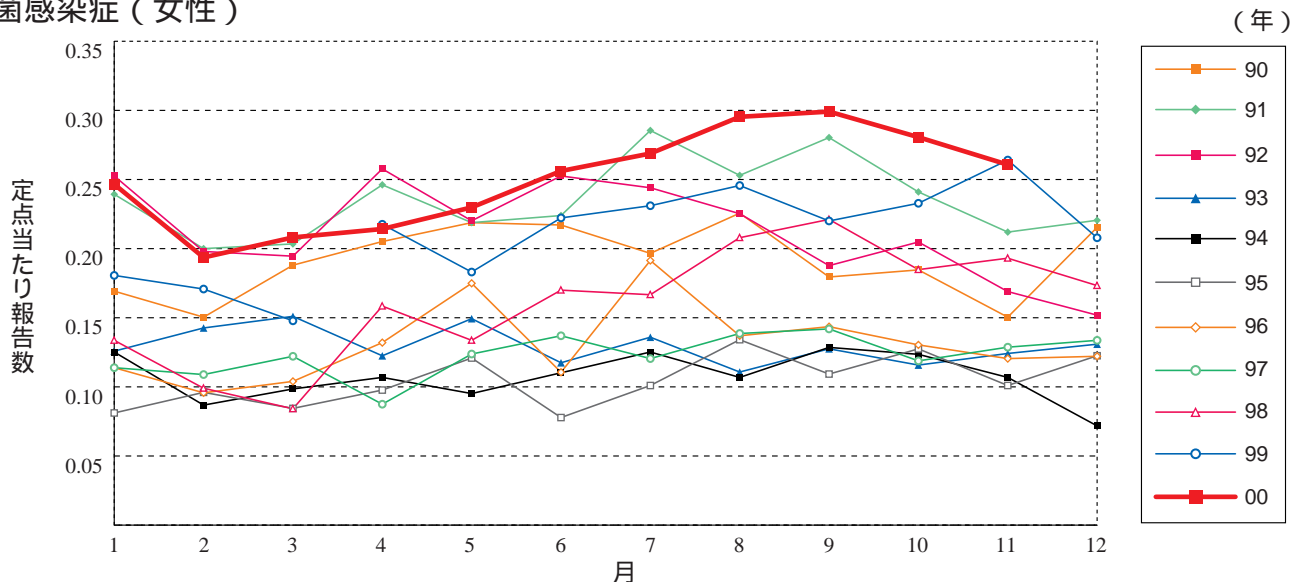
淋菌感染症（総数）



淋菌感染症（男性）

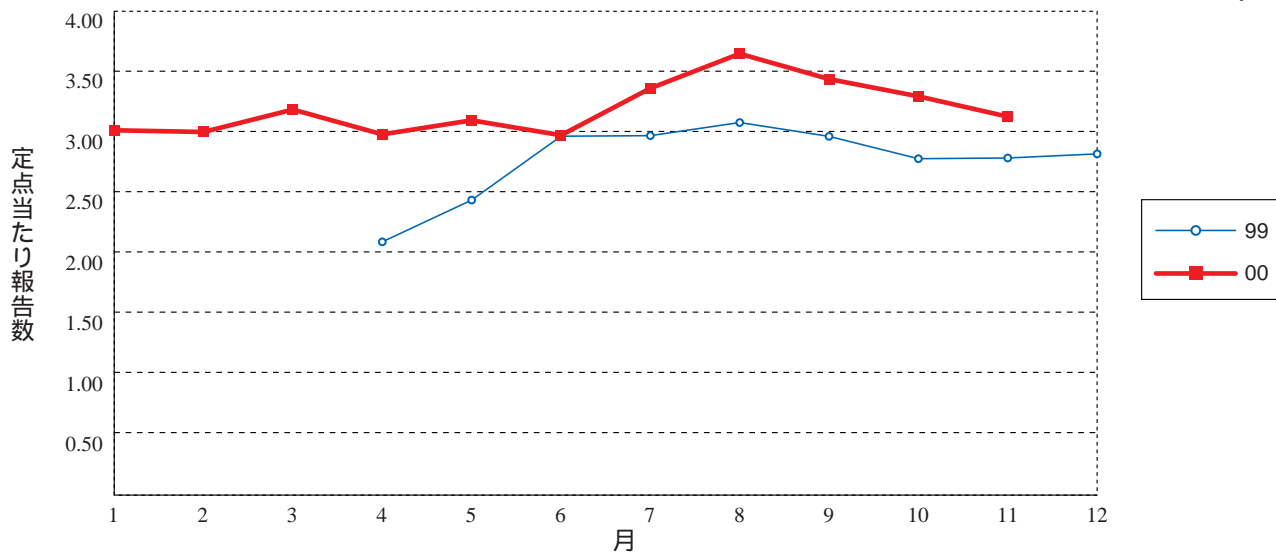


淋菌感染症（女性）



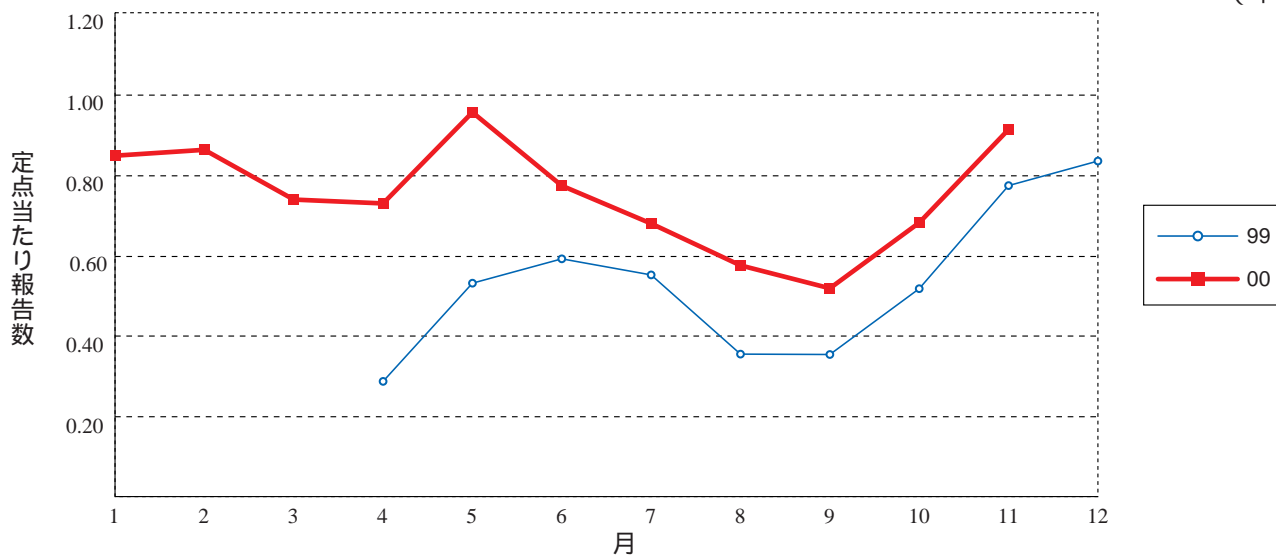
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

(年)



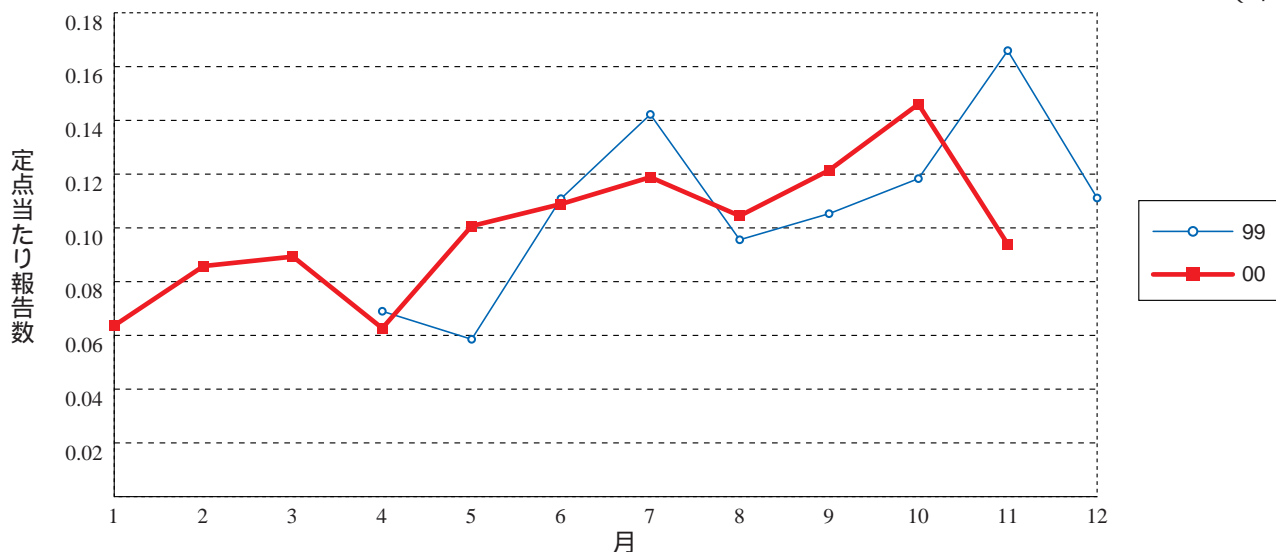
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

(年)



薬剤耐緑膿菌感染症

(年)





11月のデータ

注)表中の報告数は12月7日集計分であり、その後の報告数は次月以降の累計に反映されます。

第3121表 報告数・定点当り報告数，疾病・都道府県・性別（総数）

平成12年11月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	3138	3.45	705	0.78	375	0.41	1434	1.58	1433	3.13	417	0.91	43	0.09
北海道	204	4.53	39	0.87	22	0.49	42	0.93	39	1.70	5	0.22	-	-
青森県	47	3.36	7	0.50	5	0.36	15	1.07	6	1.00	-	-	-	-
岩手県	55	4.23	6	0.46	4	0.31	9	0.69	50	2.50	5	0.25	2	0.10
宮城県	101	5.94	13	0.76	10	0.59	44	2.59	84	6.46	48	3.69	2	0.15
秋田県	21	1.50	-	-	4	0.29	3	0.21	15	1.88	20	2.50	-	-
山形県	41	4.10	5	0.50	-	-	5	0.50	32	3.56	18	2.00	2	0.22
福島県	17	1.06	5	0.31	1	0.06	15	0.94	11	1.57	-	-	-	-
茨城県	97	4.62	12	0.57	6	0.29	46	2.19	12	1.09	-	-	-	-
栃木県	61	4.07	2	0.13	6	0.40	25	1.67	13	1.86	2	0.29	-	-
群馬県	144	5.76	21	0.84	18	0.72	41	1.64	31	3.10	9	0.90	3	0.30
埼玉県	216	4.32	24	0.48	16	0.32	77	1.54	18	2.00	1	0.11	2	0.22
千葉県	82	2.10	22	0.56	17	0.44	43	1.10	22	2.44	86	9.56	-	-
東京都	221	5.39	83	2.02	44	1.07	105	2.56	112	5.33	22	1.05	5	0.24
神奈川県	110	1.83	23	0.38	14	0.23	78	1.30	16	1.45	16	1.45	1	0.09
新潟県	37	1.95	9	0.47	7	0.37	32	1.68	38	3.17	3	0.25	-	-
富山県	23	3.29	3	0.43	5	0.71	7	1.00	22	4.40	8	1.60	-	-
石川県	22	2.20	6	0.60	1	0.10	11	1.10	9	1.80	9	1.80	-	-
福井県	6	1.20	2	0.40	1	0.20	1	0.20	25	4.17	8	1.33	1	0.17
山梨県	9	1.50	-	-	-	-	4	0.67	29	2.90	12	1.20	2	0.20
長野県	39	2.60	8	0.53	1	0.07	7	0.47	34	3.09	14	1.27	-	-
岐阜県	22	1.47	8	0.53	9	0.60	11	0.73	37	7.40	1	0.20	-	-
静岡県	99	3.30	9	0.30	8	0.27	13	0.43	48	4.80	10	1.00	-	-
愛知県	206	3.96	28	0.54	21	0.40	161	3.10	48	3.69	2	0.15	2	0.15
三重県	25	1.67	7	0.47	3	0.20	10	0.67	65	7.22	-	-	-	-
滋賀県	6	0.67	2	0.22	4	0.44	4	0.44	29	4.14	2	0.29	-	-
京都府	42	1.83	11	0.48	-	-	12	0.52	4	0.67	-	-	-	-
大阪府	336	5.79	140	2.41	46	0.79	205	3.53	27	3.00	2	0.22	-	-
兵庫県	98	2.13	24	0.52	10	0.22	49	1.07	25	1.92	10	0.77	-	-
奈良県	18	2.00	9	1.00	2	0.22	18	2.00	22	3.67	6	1.00	1	0.17
和歌山県	8	1.00	8	1.00	-	-	5	0.63	23	2.30	1	0.10	3	0.30
鳥取県	21	4.20	2	0.40	1	0.20	2	0.40	9	1.80	2	0.40	-	-
島根県	10	1.67	2	0.33	1	0.17	8	1.33	41	5.13	17	2.13	-	-
岡山県	70	4.12	10	0.59	5	0.29	31	1.82	3	0.60	-	-	-	-
広島県	82	3.15	16	0.62	13	0.50	19	0.73	98	4.67	27	1.29	10	0.48
山口県	42	3.50	7	0.58	6	0.50	11	0.92	34	4.86	18	2.57	2	0.29
徳島県	6	1.00	5	0.83	1	0.17	4	0.67	10	1.43	-	-	1	0.14
香川県	36	4.00	4	0.44	2	0.22	9	1.00	23	4.60	-	-	-	-
愛媛県	26	2.36	4	0.36	4	0.36	16	1.45	4	0.67	-	-	-	-
高知県	11	1.83	-	-	-	-	6	1.00	58	8.29	20	2.86	1	0.14
福岡県	162	6.48	34	1.36	33	1.32	109	4.36	28	1.65	4	0.24	-	-
佐賀県	13	1.86	11	1.57	1	0.14	8	1.14	15	2.50	1	0.17	-	-
長崎県	3	0.30	9	0.90	1	0.10	4	0.40	-	-	-	-	-	-
熊本県	81	5.79	22	1.57	3	0.21	24	1.71	45	3.00	1	0.07	-	-
大分県	15	1.50	10	1.00	4	0.40	15	1.50	40	4.00	1	0.10	-	-
宮崎県	51	4.64	14	1.27	2	0.18	17	1.55	20	2.86	-	-	3	0.43
鹿児島県	51	3.19	18	1.13	10	0.63	41	2.56	9	0.75	-	-	-	-
沖縄県	45	4.09	1	0.09	3	0.27	12	1.09	50	7.14	6	0.86	-	-

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(男)

平成12年11月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	1338	1.47	270	0.30	188	0.21	1197	1.32	915	2.00	247	0.54	26	0.06
北海道	39	0.87	6	0.13	7	0.16	25	0.56	28	1.22	1	0.04	-	-
青森県	24	1.71	2	0.14	2	0.14	10	0.71	4	0.67	-	-	-	-
岩手県	22	1.69	3	0.23	1	0.08	9	0.69	33	1.65	2	0.10	1	0.05
宮城県	37	2.18	2	0.12	4	0.24	37	2.18	48	3.69	28	2.15	1	0.08
秋田県	5	0.36	-	-	1	0.07	3	0.21	9	1.13	14	1.75	-	-
山形県	17	1.70	-	-	-	-	4	0.40	24	2.67	11	1.22	1	0.11
福島県	9	0.56	-	-	1	0.06	14	0.88	10	1.43	-	-	-	-
茨城県	52	2.48	5	0.24	3	0.14	43	2.05	9	0.82	-	-	-	-
栃木県	26	1.73	-	-	2	0.13	24	1.60	8	1.14	2	0.29	-	-
群馬県	78	3.12	3	0.12	1	0.04	30	1.20	23	2.30	6	0.60	2	0.20
埼玉県	64	1.28	5	0.10	8	0.16	72	1.44	11	1.22	-	-	2	0.22
千葉県	29	0.74	11	0.28	7	0.18	37	0.95	16	1.78	53	5.89	-	-
東京都	106	2.59	29	0.71	28	0.68	81	1.98	69	3.29	14	0.67	4	0.19
神奈川県	75	1.25	13	0.22	8	0.13	72	1.20	7	0.64	10	0.91	1	0.09
新潟県	28	1.47	9	0.47	7	0.37	31	1.63	30	2.50	3	0.25	-	-
富山県	7	1.00	-	-	1	0.14	5	0.71	15	3.00	5	1.00	-	-
石川県	13	1.30	2	0.20	-	-	10	1.00	6	1.20	5	1.00	-	-
福井県	4	0.80	2	0.40	1	0.20	1	0.20	14	2.33	5	0.83	1	0.17
山梨県	2	0.33	-	-	-	-	3	0.50	17	1.70	5	0.50	-	-
長野県	7	0.47	3	0.20	-	-	5	0.33	19	1.73	9	0.82	-	-
岐阜県	13	0.87	5	0.33	5	0.33	11	0.73	22	4.40	1	0.20	-	-
静岡県	42	1.40	3	0.10	6	0.20	13	0.43	29	2.90	6	0.60	-	-
愛知県	127	2.44	18	0.35	17	0.33	142	2.73	33	2.54	2	0.15	2	0.15
三重県	15	1.00	4	0.27	3	0.20	9	0.60	44	4.89	-	-	-	-
滋賀県	3	0.33	-	-	-	-	4	0.44	22	3.14	-	-	-	-
京都府	12	0.52	2	0.09	-	-	8	0.35	2	0.33	-	-	-	-
大阪府	127	2.19	62	1.07	26	0.45	158	2.72	16	1.78	2	0.22	-	-
兵庫県	54	1.17	9	0.20	6	0.13	45	0.98	16	1.23	3	0.23	-	-
奈良県	16	1.78	6	0.67	2	0.22	17	1.89	11	1.83	5	0.83	1	0.17
和歌山県	8	1.00	4	0.50	-	-	4	0.50	14	1.40	-	-	3	0.30
鳥取県	4	0.80	-	-	-	-	1	0.20	4	0.80	2	0.40	-	-
島根県	4	0.67	1	0.17	-	-	7	1.17	20	2.50	6	0.75	-	-
岡山県	21	1.24	1	0.06	3	0.18	20	1.18	2	0.40	-	-	-	-
広島県	19	0.73	8	0.31	7	0.27	15	0.58	64	3.05	15	0.71	3	0.14
山口県	12	1.00	1	0.08	3	0.25	6	0.50	20	2.86	12	1.71	-	-
徳島県	5	0.83	4	0.67	-	-	3	0.50	8	1.14	-	-	-	-
香川県	11	1.22	2	0.22	2	0.22	8	0.89	11	2.20	-	-	-	-
愛媛県	6	0.55	3	0.27	2	0.18	16	1.45	2	0.33	-	-	-	-
高知県	5	0.83	-	-	-	-	5	0.83	38	5.43	11	1.57	1	0.14
福岡県	89	3.56	15	0.60	15	0.60	91	3.64	16	0.94	3	0.18	-	-
佐賀県	8	1.14	-	-	1	0.14	7	1.00	12	2.00	1	0.17	-	-
長崎県	3	0.30	6	0.60	-	-	4	0.40	-	-	-	-	-	-
熊本県	32	2.29	5	0.36	1	0.07	19	1.36	27	1.80	1	0.07	-	-
大分県	8	0.80	5	0.50	3	0.30	14	1.40	31	3.10	1	0.10	-	-
宮崎県	19	1.73	3	0.27	1	0.09	13	1.18	16	2.29	-	-	3	0.43
鹿児島県	26	1.63	8	0.50	3	0.19	35	2.19	7	0.58	-	-	-	-
沖縄県	5	0.45	-	-	-	-	6	0.55	28	4.00	3	0.43	-	-

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(女)

平成12年11月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1800	1.98	435	0.48	187	0.21	237	0.26	518	1.13	170	0.37	17	0.04
北海道	165	3.67	33	0.73	15	0.33	17	0.38	11	0.48	4	0.17	-	-
青森県	23	1.64	5	0.36	3	0.21	5	0.36	2	0.33	-	-	-	-
岩手県	33	2.54	3	0.23	3	0.23	-	-	17	0.85	3	0.15	1	0.05
宮城県	64	3.76	11	0.65	6	0.35	7	0.41	36	2.77	20	1.54	1	0.08
秋田県	16	1.14	-	-	3	0.21	-	-	6	0.75	6	0.75	-	-
山形県	24	2.40	5	0.50	-	-	1	0.10	8	0.89	7	0.78	1	0.11
福島県	8	0.50	5	0.31	-	-	1	0.06	1	0.14	-	-	-	-
茨城県	45	2.14	7	0.33	3	0.14	3	0.14	3	0.27	-	-	-	-
栃木県	35	2.33	2	0.13	4	0.27	1	0.07	5	0.71	-	-	-	-
群馬県	66	2.64	18	0.72	17	0.68	11	0.44	8	0.80	3	0.30	1	0.10
埼玉県	152	3.04	19	0.38	8	0.16	5	0.10	7	0.78	1	0.11	-	-
千葉県	53	1.36	11	0.28	10	0.26	6	0.15	6	0.67	33	3.67	-	-
東京都	115	2.80	54	1.32	16	0.39	24	0.59	43	2.05	8	0.38	1	0.05
神奈川県	35	0.58	10	0.17	6	0.10	6	0.10	9	0.82	6	0.55	-	-
新潟県	9	0.47	-	-	-	-	1	0.05	8	0.67	-	-	-	-
富山県	16	2.29	3	0.43	4	0.57	2	0.29	7	1.40	3	0.60	-	-
石川県	9	0.90	4	0.40	1	0.10	1	0.10	3	0.60	4	0.80	-	-
福井県	2	0.40	-	-	-	-	-	-	11	1.83	3	0.50	-	-
山梨県	7	1.17	-	-	-	-	1	0.17	12	1.20	7	0.70	2	0.20
長野県	32	2.13	5	0.33	1	0.07	2	0.13	15	1.36	5	0.45	-	-
岐阜県	9	0.60	3	0.20	4	0.27	-	-	15	3.00	-	-	-	-
静岡県	57	1.90	6	0.20	2	0.07	-	-	19	1.90	4	0.40	-	-
愛知県	79	1.52	10	0.19	4	0.08	19	0.37	15	1.15	-	-	-	-
三重県	10	0.67	3	0.20	-	-	1	0.07	21	2.33	-	-	-	-
滋賀県	3	0.33	2	0.22	4	0.44	-	-	7	1.00	2	0.29	-	-
京都府	30	1.30	9	0.39	-	-	4	0.17	2	0.33	-	-	-	-
大阪府	209	3.60	78	1.34	20	0.34	47	0.81	11	1.22	-	-	-	-
兵庫県	44	0.96	15	0.33	4	0.09	4	0.09	9	0.69	7	0.54	-	-
奈良県	2	0.22	3	0.33	-	-	1	0.11	11	1.83	1	0.17	-	-
和歌山県	-	-	4	0.50	-	-	1	0.13	9	0.90	1	0.10	-	-
鳥取県	17	3.40	2	0.40	1	0.20	1	0.20	5	1.00	-	-	-	-
島根県	6	1.00	1	0.17	1	0.17	1	0.17	21	2.63	11	1.38	-	-
岡山県	49	2.88	9	0.53	2	0.12	11	0.65	1	0.20	-	-	-	-
広島県	63	2.42	8	0.31	6	0.23	4	0.15	34	1.62	12	0.57	7	0.33
山口県	30	2.50	6	0.50	3	0.25	5	0.42	14	2.00	6	0.86	2	0.29
徳島県	1	0.17	1	0.17	1	0.17	1	0.17	2	0.29	-	-	1	0.14
香川県	25	2.78	2	0.22	-	-	1	0.11	12	2.40	-	-	-	-
愛媛県	20	1.82	1	0.09	2	0.18	-	-	2	0.33	-	-	-	-
高知県	6	1.00	-	-	-	-	1	0.17	20	2.86	9	1.29	-	-
福岡県	73	2.92	19	0.76	18	0.72	18	0.72	12	0.71	1	0.06	-	-
佐賀県	5	0.71	11	1.57	-	-	1	0.14	3	0.50	-	-	-	-
長崎県	-	-	3	0.30	1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	49	3.50	17	1.21	2	0.14	5	0.36	18	1.20	-	-	-	-
大分県	7	0.70	5	0.50	1	0.10	1	0.10	9	0.90	-	-	-	-
宮崎県	32	2.91	11	1.00	1	0.09	4	0.36	4	0.57	-	-	-	-
鹿児島県	25	1.56	10	0.63	7	0.44	6	0.38	2	0.17	-	-	-	-
沖縄県	40	3.64	1	0.09	3	0.27	6	0.55	22	3.14	3	0.43	-	-

注)12月19日集計分

第1104表 新登録患者数・都道府県別

平成12年11月

	結核
	報告数
総数	3031
北海道	96
青森県	27
岩手県	19
宮城県	46
秋田県	19
山形県	15
福島県	35
茨城県	67
栃木県	33
群馬県	27
埼玉県	136
千葉県	105
東京都	371
神奈川県	177
新潟県	52
富山県	26
石川県	24
福井県	13
山梨県	10
長野県	23
岐阜県	61
静岡県	66
愛知県	181
三重県	34
滋賀県	28
京都府	57
大阪府	411
兵庫県	186
奈良県	35
和歌山県	40
鳥取県	11
島根県	19
岡山県	45
広島県	49
山口県	39
徳島県	17
香川県	35
愛媛県	37
高知県	20
福岡県	116
佐賀県	13
長崎県	37
熊本県	33
大分県	28
宮崎県	25
鹿児島県	50
沖縄県	37



50週のデータ

注)表中の報告数は12月21日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年50週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	52	6	801	-	80	-	19
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	25	-	3	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	6	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	2	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	2	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	22	-	3	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	28	-	4	-	4
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1	137	-	15	-	7	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	59	-	4	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-	1	-	1	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	27	-	4	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	44	-	7	-	1	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7	-	-	-	1	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	22	-	2	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	65	-	8	-	4	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	30	-	7	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	14	-	3	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	1	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	1	-	1	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	14	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	48	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	43	-	2	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	3	-	2	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年50週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	1	-	1	35	3553	4	347	-	21	-	-	-	19	-	-	6	938
北海道	-	-	-	-	-	100	-	6	-	20	-	-	-	-	-	-	-	15
青森県	-	-	-	-	-	44	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
岩手県	-	-	-	-	-	117	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
宮城県	-	-	-	-	1	57	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
秋田県	-	-	-	-	-	63	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
山形県	-	-	-	-	-	44	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福島県	-	-	-	-	-	21	-	5	-	1	-	-	-	3	-	-	-	3
茨城県	-	-	-	-	-	32	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
栃木県	-	-	-	1	-	16	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
群馬県	-	-	-	-	-	27	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23
埼玉県	-	-	-	-	1	95	-	12	-	-	-	-	-	2	-	-	-	10
千葉県	-	-	-	-	-	152	-	15	-	-	-	-	-	2	-	-	-	13
東京都	-	-	-	-	6	306	1	85	-	-	-	-	-	4	-	-	-	96
神奈川県	-	-	-	-	-	159	-	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	47
新潟県	-	-	-	-	-	20	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
富山県	-	-	-	-	-	52	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
石川県	-	-	-	-	-	58	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22
福井県	-	-	-	-	-	14	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	16	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14
長野県	-	-	-	-	-	36	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
岐阜県	-	-	-	-	-	33	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37
静岡県	-	-	-	-	2	57	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	38
愛知県	-	-	-	-	3	231	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29
三重県	-	-	-	-	-	49	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
滋賀県	-	-	-	-	-	40	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
京都府	-	-	-	-	-	57	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29
大阪府	-	-	-	-	1	341	1	52	-	-	-	-	-	1	-	-	1	98
兵庫県	-	-	-	-	1	185	1	36	-	-	-	-	-	-	-	-	1	102
奈良県	-	-	-	-	-	33	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19
和歌山県	-	-	-	-	1	42	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
鳥取県	-	-	-	-	-	31	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
岡山県	-	-	-	-	-	94	-	7	-	-	-	-	-	2	-	-	-	31
広島県	-	-	-	-	6	121	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	1	22
山口県	-	-	-	-	3	51	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
徳島県	-	-	-	-	-	16	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32
香川県	-	-	-	-	-	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
愛媛県	-	-	-	-	-	26	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27
高知県	-	-	-	-	-	8	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
福岡県	-	-	-	-	1	315	1	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	47
佐賀県	-	-	-	-	9	62	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
長崎県	-	-	-	-	-	56	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	36	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
大分県	-	-	-	-	-	33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
宮崎県	-	1	-	-	-	47	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	16
鹿児島県	-	-	-	-	-	46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	17
沖縄県	-	-	-	-	-	43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年50週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	2	21	-	-	-	3	1	96	1	45	1	721	-	1	2	88	-	-
北海道	-	7	-	-	-	-	-	2	-	1	-	8	-	-	-	2	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮城県	1	8	-	-	-	-	1	4	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	44	-	-	-	2	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	20	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	9	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	-	33	-	-	-	6	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	2	-	3	-	3	-	55	-	-	-	3	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	-	12	1	9	1	293	-	1	-	17	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	3	-	40	-	-	-	8	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	13	-	-	-	3	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	7	-	-	-	1	-	-
静岡県	1	5	-	-	-	-	-	4	-	2	-	22	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	9	-	3	-	25	-	-	-	3	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	1	1	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	6	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	46	-	-	1	13	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	5	-	17	-	-	-	7	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	3	-	-	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年50週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風疹症候群		炭疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児ボツリヌス症		梅毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	13	-	1	-	-	30	640	-	18	-	37	-	7	-	-	7	708
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
青森県	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
山形県	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	2	37	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
栃木県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	19	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	15
千葉県	-	2	-	-	-	-	1	39	-	-	-	9	-	-	-	-	-	20
東京都	-	1	-	-	-	-	1	14	-	12	-	-	-	-	-	-	-	110
神奈川県	-	1	-	-	-	-	2	43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35
新潟県	-	-	-	-	-	-	1	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
富山県	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	1	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
静岡県	-	2	-	-	-	-	2	18	-	-	-	1	-	-	-	-	-	10
愛知県	-	-	-	-	-	-	2	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	25
三重県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	11
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
大阪府	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	121
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	6	-	-	-	-	-	43
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	10
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	4	-	-	-	-	-	5
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
島根県	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	10	-	-	-	-	-	3
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	1	-	-	-	-	17
広島県	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
山口県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	2	-	-	-	-	35
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
高知県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	1	-	-	-	3
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	58
佐賀県	-	-	-	-	-	-	2	4	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	-	1	24	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	-	-	1	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
大分県	-	-	-	-	-	-	1	40	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	6	72	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	6	74	-	-	-	4	-	-	-	-	-	11
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年50週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	87	1	35	-	-	-	-	-	-	-	-	1	149	-	11	4	147
北海道	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	10	-	1
青森県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	3
秋田県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
茨城県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	28
栃木県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	4
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	4	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	4
千葉県	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	1	5
東京都	-	7	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	61	-	-	-	10
神奈川県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	2
新潟県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
石川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
岐阜県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	30
愛知県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	7
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
京都府	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
大阪府	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	5
兵庫県	-	6	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	3
奈良県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
広島県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福岡県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	4
佐賀県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
熊本県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	9	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年50週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1259	0.27	396	0.13	4749	1.59	44524	14.88	8720	2.91	1912	0.64	791	0.26	2379	0.80	39	0.01
北海道	21	0.09	10	0.07	361	2.49	582	4.01	691	4.77	23	0.16	77	0.53	98	0.68	3	0.02
青森県	9	0.14	-	-	17	0.41	217	5.29	194	4.73	16	0.39	6	0.15	28	0.68	1	0.02
岩手県	16	0.26	-	-	64	1.68	338	8.89	124	3.26	11	0.29	47	1.24	21	0.55	-	-
宮城県	19	0.20	4	0.07	154	2.61	1339	22.69	254	4.31	101	1.71	41	0.69	74	1.25	2	0.03
秋田県	4	0.07	2	0.06	61	1.74	320	9.14	144	4.11	10	0.29	1	0.03	23	0.66	1	0.03
山形県	7	0.15	11	0.37	91	3.03	868	28.93	165	5.50	20	0.67	15	0.50	38	1.27	1	0.03
福島県	-	-	-	-	39	0.81	516	10.75	128	2.67	61	1.27	15	0.31	37	0.77	-	-
茨城県	13	0.12	-	-	90	1.25	690	9.58	225	3.13	22	0.31	4	0.06	30	0.42	1	0.01
栃木県	14	0.21	3	0.07	129	2.87	426	9.47	115	2.56	53	1.18	13	0.29	36	0.80	-	-
群馬県	26	0.26	9	0.15	154	2.48	732	11.81	235	3.79	7	0.11	11	0.18	33	0.53	-	-
埼玉県	99	0.39	37	0.23	304	1.92	3398	21.51	464	2.94	50	0.32	74	0.47	144	0.91	4	0.03
千葉県	67	0.33	13	0.10	261	1.98	2151	16.30	337	2.55	145	1.10	63	0.48	118	0.89	-	-
東京都	43	0.24	10	0.07	52	0.37	1528	10.76	199	1.40	57	0.40	51	0.36	72	0.51	3	0.02
神奈川県	93	0.30	35	0.17	283	1.38	3621	17.66	551	2.69	74	0.36	52	0.25	211	1.03	1	0.00
新潟県	23	0.23	33	0.55	190	3.17	908	15.13	346	5.77	42	0.70	5	0.08	54	0.90	-	-
富山県	8	0.17	1	0.03	52	1.79	499	17.21	111	3.83	25	0.86	-	-	27	0.93	-	-
石川県	3	0.06	6	0.21	30	1.03	535	18.45	105	3.62	71	2.45	6	0.21	27	0.93	-	-
福井県	4	0.14	11	0.50	37	1.68	363	16.50	78	3.55	26	1.18	4	0.18	14	0.64	-	-
山梨県	15	0.37	3	0.12	18	0.72	129	5.16	47	1.88	22	0.88	2	0.08	3	0.12	-	-
長野県	47	0.57	10	0.19	125	2.40	703	13.52	277	5.33	21	0.40	1	0.02	55	1.06	-	-
岐阜県	40	0.48	4	0.08	129	2.43	428	8.08	137	2.58	62	1.17	9	0.17	29	0.55	-	-
静岡県	58	0.42	32	0.37	110	1.28	1348	15.67	216	2.51	89	1.03	20	0.23	88	1.02	-	-
愛知県	49	0.25	15	0.08	330	1.81	2427	13.34	537	2.95	228	1.25	61	0.34	136	0.75	-	-
三重県	9	0.13	1	0.02	47	1.04	918	20.40	127	2.82	25	0.56	6	0.13	48	1.07	-	-
滋賀県	17	0.38	-	-	36	1.20	265	8.83	83	2.77	9	0.30	4	0.13	17	0.57	1	0.03
京都府	109	0.87	3	0.04	54	0.71	1432	18.84	136	1.79	25	0.33	15	0.20	40	0.53	3	0.04
大阪府	109	0.40	21	0.11	163	0.85	2350	12.30	327	1.71	49	0.26	30	0.16	139	0.73	1	0.01
兵庫県	52	0.26	13	0.10	160	1.26	2623	20.65	306	2.41	38	0.30	13	0.10	108	0.85	1	0.01
奈良県	45	0.82	1	0.03	57	1.63	331	9.46	162	4.63	3	0.09	1	0.03	23	0.66	-	-
和歌山県	14	0.29	-	-	40	1.29	478	15.42	127	4.10	3	0.10	1	0.03	24	0.77	2	0.06
鳥取県	5	0.18	5	0.26	134	7.05	619	32.58	62	3.26	6	0.32	-	-	24	1.26	-	-
島根県	2	0.05	6	0.26	8	0.35	231	10.04	79	3.43	12	0.52	1	0.04	10	0.43	-	-
岡山県	23	0.27	22	0.41	89	1.65	462	8.56	158	2.93	17	0.31	4	0.07	33	0.61	8	0.15
広島県	18	0.16	4	0.05	153	2.04	1058	14.11	160	2.13	68	0.91	19	0.25	53	0.71	1	0.01
山口県	1	0.01	10	0.20	97	1.98	1268	25.88	153	3.12	54	1.10	6	0.12	62	1.27	-	-
徳島県	10	0.26	3	0.13	29	1.26	194	8.43	50	2.17	20	0.87	2	0.09	19	0.83	-	-
香川県	-	-	5	0.16	50	1.56	359	11.22	38	1.19	23	0.72	1	0.03	23	0.72	-	-
愛媛県	3	0.05	2	0.05	80	2.05	577	14.79	113	2.90	21	0.54	5	0.13	33	0.85	-	-
高知県	3	0.06	6	0.19	45	1.45	234	7.55	37	1.19	7	0.23	3	0.10	12	0.39	-	-
福岡県	32	0.20	13	0.16	92	1.16	2435	30.82	184	2.33	58	0.73	49	0.62	57	0.72	1	0.01
佐賀県	11	0.28	-	-	27	1.17	525	22.83	91	3.96	19	0.83	8	0.35	32	1.39	-	-
長崎県	1	0.01	-	-	20	0.45	422	9.59	88	2.00	39	0.89	6	0.14	21	0.48	-	-
熊本県	31	0.38	12	0.24	76	1.55	1083	22.10	111	2.27	47	0.96	14	0.29	63	1.29	-	-
大分県	8	0.14	6	0.17	57	1.58	902	25.06	97	2.69	9	0.25	3	0.08	47	1.31	2	0.06
宮崎県	5	0.08	12	0.32	85	2.30	654	17.68	189	5.11	36	0.97	19	0.51	44	1.19	1	0.03
鹿児島県	58	0.59	2	0.03	53	0.88	994	16.57	121	2.02	11	0.18	3	0.05	40	0.67	1	0.02
沖縄県	15	0.26	-	-	16	0.47	44	1.29	41	1.21	77	2.26	-	-	11	0.32	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年50週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	44	0.01	288	0.10	321	0.11	4553	1.52	25	0.04	877	1.39	1	0.00	2	0.00	23	0.05
北海道	-	-	-	-	52	0.36	377	2.60	1	0.03	37	1.28	-	-	-	-	-	-
青森県	1	0.02	-	-	-	-	64	1.56	-	-	7	0.64	-	-	-	-	1	0.17
岩手県	1	0.03	1	0.03	-	-	3	0.08	4	0.33	9	0.75	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	6	0.10	17	0.29	16	0.27	1	0.09	5	0.45	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	22	0.63	-	-	11	1.57	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	2	0.07	-	-	42	1.40	-	-	16	2.00	-	-	-	-	-	-
福島県	3	0.06	5	0.10	5	0.10	29	0.60	-	-	10	0.83	-	-	-	-	1	0.14
茨城県	-	-	-	-	3	0.04	90	1.25	-	-	49	3.06	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	0.02	-	-	3	0.07	25	0.56	-	-	24	2.00	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	1	0.02	1	0.02	92	1.48	1	0.07	54	3.86	-	-	-	-	-	-
埼玉県	3	0.02	15	0.09	21	0.13	535	3.39	2	0.06	65	1.81	-	-	-	-	-	-
千葉県	1	0.01	5	0.04	2	0.02	307	2.33	2	0.06	72	2.12	-	-	-	-	1	0.08
東京都	-	-	5	0.04	7	0.05	175	1.23	-	-	28	2.00	-	-	-	-	2	0.08
神奈川県	3	0.01	7	0.03	19	0.09	444	2.17	1	0.02	72	1.71	-	-	-	-	3	0.27
新潟県	-	-	-	-	-	-	208	3.47	-	-	10	1.11	-	-	-	-	4	0.31
富山県	1	0.03	2	0.07	-	-	6	0.21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	1	0.03	-	-	4	0.14	-	-	5	0.71	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	1	0.05	-	-	68	3.09	-	-	1	0.33	-	-	-	-	1	0.20
山梨県	-	-	-	-	-	-	7	0.28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	1	0.02	-	-	41	0.79	2	0.20	16	1.60	-	-	-	-	1	0.09
岐阜県	-	-	3	0.06	-	-	65	1.23	-	-	17	1.42	-	-	-	-	-	-
静岡県	4	0.05	7	0.08	-	-	224	2.60	-	-	17	0.85	-	-	-	-	1	0.13
愛知県	-	-	20	0.11	10	0.05	244	1.34	-	-	13	0.37	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	9	0.20	1	0.02	100	2.22	-	-	5	0.42	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	4	0.13	-	-	32	1.07	-	-	12	1.71	-	-	-	-	-	-
京都府	1	0.01	4	0.05	2	0.03	96	1.26	-	-	16	0.89	-	-	-	-	1	0.17
大阪府	4	0.02	58	0.30	11	0.06	235	1.23	1	0.02	30	0.58	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	6	0.05	2	0.02	124	0.98	1	0.03	31	0.89	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	7	0.20	24	0.69	22	0.63	-	-	14	1.56	-	-	-	-	-	-
和歌山県	1	0.03	5	0.16	6	0.19	6	0.19	-	-	5	1.25	-	-	1	0.09	-	-
鳥取県	-	-	2	0.11	-	-	30	1.58	-	-	1	0.33	-	-	-	-	5	1.00
島根県	-	-	2	0.09	2	0.09	40	1.74	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	5	0.09	1	0.02	22	0.41	-	-	10	0.83	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	8	0.11	7	0.09	70	0.93	1	0.05	23	1.15	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	8	0.16	7	0.14	114	2.33	2	0.22	6	0.67	-	-	-	-	-	-
徳島県	2	0.09	5	0.22	-	-	19	0.83	-	-	7	1.75	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	7	0.22	-	-	40	1.25	-	-	5	1.67	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	23	0.59	-	-	19	0.49	1	0.14	24	3.43	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	11	0.35	32	1.03	9	0.29	-	-	5	1.67	-	-	-	-	-	-
福岡県	14	0.18	6	0.08	27	0.34	149	1.89	-	-	39	2.17	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	2	0.09	-	-	58	2.52	-	-	6	1.50	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	21	0.48	5	0.63	21	2.63	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	7	0.14	2	0.04	172	3.51	-	-	25	2.78	-	-	-	-	2	0.13
大分県	-	-	9	0.25	22	0.61	39	1.08	-	-	8	1.60	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	5	0.14	-	-	11	0.30	-	-	11	2.75	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	1	0.02	12	0.20	22	0.37	23	0.38	-	-	20	3.33	-	-	-	-	-	-
沖縄県	3	0.09	1	0.03	13	0.38	14	0.41	-	-	12	1.20	1	0.14	1	0.14	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成12年50週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	72	0.16	3	0.01	2	0.00
北海道	-	-	-	-	-	-
青森県	1	0.17	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-
宮城県	4	0.33	-	-	-	-
秋田県	6	0.75	-	-	-	-
山形県	3	0.33	-	-	-	-
福島県	2	0.29	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	1	0.17	-	-
群馬県	1	0.10	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-
千葉県	2	0.15	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	1	0.04
神奈川県	1	0.09	-	-	-	-
新潟県	2	0.15	-	-	-	-
富山県	1	0.20	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	9	0.90	-	-	-	-
長野県	-	-	2	0.18	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.13	-	-	-	-
愛知県	3	0.21	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	3	0.38	-	-	-	-
兵庫県	2	0.14	-	-	-	-
奈良県	4	0.67	-	-	-	-
和歌山県	3	0.27	-	-	-	-
鳥取県	3	0.60	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	1	0.20	-	-	-	-
広島県	3	0.14	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-
徳島県	1	0.14	-	-	-	-
香川県	1	0.20	-	-	-	-
愛媛県	4	0.67	-	-	-	-
高知県	3	0.43	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-
大分県	3	0.30	-	-	-	-
宮崎県	1	0.14	-	-	-	-
鹿児島県	3	0.25	-	-	-	-
沖縄県	1	0.14	-	-	1	0.14

感染症週報 第2巻、第50号 平成13年1月5日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生省保健医療局結核感染症課
 厚生省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 < 国立感染症研究所 感染症情報センター >
<http://www.mhw.go.jp/>
 < 厚生省 >
<http://www.forth.go.jp/>
 < 旅行者のための海外感染症情報(厚生省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。